

米に関するマンスリーレポート (令和6年11月号)



うちの郷土料理
次世代に伝えたい大切な味

山梨県 さんまめし

出典: 農林水産省「うちの郷土料理」
詳細情報を裏面で紹介

「米に関するマンスリーレポート（マンレポ）」とは

⇒ 米に関する価格や需給の動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表しています。需要に応じた生産・円滑な米取引に役立てていただくことを目的としています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬公表。公表日の2営業日前までに入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあり得ます。

データはどう読み解けばいいの？

そんなときは、「ここが分からない！マンレポ」をチェック！

https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo_kaisetu.html

うちの郷土料理

次世代に伝えたい大切な味

山梨県

さんまめし

主な伝承地域

山梨県 中北地域

主な使用食材

米、サンマ、生しょうが

歴史・由来・関連行事

海のない山梨県でも秋になると質の良い新鮮なサンマが出回る。その旬のサンマと新米と一緒に炊きあげた料理が「さんまめし」である。農家では秋の収穫が無事に終わったときに、祝いの日のごちそうとして「さんまめし」は欠かせなかった。古い一説によると、稲刈りが終わった頃、「えびす講祭り」（昭和初期より始まった）では、業者が新潟から売りに来た塩サンマ（干したもの）2〜3尾と、一升の新米を炊きこんだものが、現在の「さんまめし」になったといわれる。サンマを並べてごはんを炊きあげるだけで、忙しいときでも美味しく仕上がる調理法のため、現在でも多くの家庭で作り続けられている。

食習の機会や時季

稲刈りが終わり、サンマと新米が出回る秋に、特に祝いの日などにつくられた。現在でも、旬の時期になると各家庭でつくられ食される。

飲食方法

米は炊く30分前に洗ってざるに取り、水気をきる。釜に米、サンマの切り身、水、酒、醤油を入れて炊く。炊きあがったらサンマの切り身を取り出し、身をほぐす。ほぐしたサンマをご飯にもどし、千切りした生しょうがを入れ混ぜる。レシピとしてはサンマを生そのまま炊き込む場合と、網などで焼いてから混ぜ込む場合がある。どちらも生しょうがのほか、しそや柚子などをあわせても青魚特有のくさみが抑えられて美味である。

材料（3〜4人分）

・米	2カップ
・水	2カップ
・サンマ（切り身）	250g※生サンマの場合は大2尾
・酒	40g
・醤油	40g
・生しょうが	50g
・しそ	適量

作り方

- 1 米は炊く30分前に洗ってざるにとり、水気を切る。
- 2 しょうがを2mm幅の千切りにする。
- 3 釜に1の米、サンマの切り身、水、酒、醤油を入れて炊く。
- 4 炊きあがったら、サンマの切り身を取りだし、身をほぐす。
- 5 4でほぐしたサンマを釜にもどし、2のしょうがを入れ混ぜる。
- 6 茶碗に盛り、好みでしそをのせ完成。

レシピ提供元名：「やまなしの食まるごと体験ハンドブック」

※レシピは地域・家庭によって違いがあります。

目次（令和6年11月号）

特集

- 1 米の基本指針（令和6年10月30日公表）の変更のポイント 特集-1
農林水産省（農産）HP https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/beikoku_sisin/index.html
- 2 今般の端境期の米の需要と供給の動向の背景・原因を踏まえた今後の対応について 特集-5
- 3 令和6年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量 特集-7
農林水産省（統計情報）HP https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#v4

1 米の民間在庫情報

各産地の米の民間在庫数量は、年間玄米仕入量500トン以上の出荷段階（全農、JA等の出荷業者）の在庫量と年間玄米仕入数量4,000トン以上の販売段階（米卸等の販売業者の在庫量）を対象に調査し、その合計（出荷段階＋販売段階）の数値も合わせて公表しています。

集荷数量が概ね確定する1月以降の在庫数量は、販売に伴って減少していくので、その変化を見ることにより、販売状況を読み取ることができます。

1 民間在庫の推移

農林水産省（農産）HP <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

(1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

在庫-1 Excel

(2) 産地別民間在庫の状況（速報）

在庫-5 Excel

(3) 令和5・6年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

在庫-6 Excel

2 米の価格情報

相対（あいたい）取引価格

米については、全農等の出荷業者と卸売業者等との間で、年間を通じて「相対取引」が行われています。

このため、農林水産省では、年間の玄米仕入量5,000トン以上の全国出荷団体等を対象に、指標となる各産地の上位2～3銘柄（令和6年産米：118産地品種銘柄）について、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格・数量を毎月調査し、米の取引価格の代表となる指標の一つとして公表しています。

1 相対取引価格・数量

農林水産省（農産）HP <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

(1) 年産別の相対取引価格（速報）

価格-1

(2) 相対取引価格・数量（令和6年産米、産地品種銘柄別、令和6年10月分）（速報）

価格-3 Excel

(3) 相対取引価格（月別・年産平均価格）（令和5・6年産米、産地品種銘柄別）（速報）

価格-5 Excel

2 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和6年10月分）

価格-7

米穀安定供給確保支援機構HP <https://www.komenet.jp/>

3 米の契約・販売情報

産地別事前契約数量は、米の播種が始まる前に、契約書や確認書等によりあらかじめ取引されることが決定している数量で、年間玄米仕入量500トン以上の出荷段階（全農、JA等の出荷業者）からの報告を産地別に取りまとめたものです。例えば、仕入（集荷）計画数量に占める事前契約数量の比率が高い産地では、取引数量の多くを播種前に契約し、需要に応じた生産に向けた取組が進められていることがうかがえます。

1 事前契約（播種前契約）の取組状況

(1) 近年の事前契約（播種前契約）数量の推移

契約-1

(2) 令和5・6年産米の産地別事前契約（播種前契約）の取組状況（速報）

契約-2 Excel

2 令和6年産米の産地別契約・販売状況

契約-3 Excel

（累計、うるち米、令和6年9月末現在）（速報）

3 令和6年産備蓄米の政府買入札結果

契約-6

農林水産省（農産）HP <https://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kaiire/index.html>

4 令和6年産の水田における作付状況（令和6年9月15日時点）

(1) 主食用米及び戦略作物等の作付状況

契約-7

(2) 令和6年産の水田における都道府県別の作付状況

契約-8

4 消費の動向

- | | |
|--|------|
| 1 米の消費動向(米穀機構による調査)
米穀安定供給確保支援機構HP https://www.komenet.jp/ | 消費-1 |
| 2 購入数量・支出金額の推移(家計調査)
総務省統計局HP https://www.stat.go.jp/data/index.html | 消費-4 |
| 3 消費者物価指数の推移 | 消費-6 |
| 4 小売物価統計の推移 | 消費-7 |
| 5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向(速報) | 消費-8 |
| 6 小売価格・販売数量等の推移(POSデータ) | 消費-9 |

5 輸出入の動向

- | | |
|---|--------|
| 1 コメ・コメ加工品の輸出実績
(1) コメ・コメ加工品の輸出実績の推移 | 輸出入-1 |
| (2) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-2 |
| (3) 2024年上半期のコメの輸出実績の主な増加要因 | 輸出入-3 |
| (4) 米菓の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-4 |
| (5) 日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-5 |
| (6) 包装米飯(パックご飯)等の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-6 |
| (7) 米粉の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-7 |
| (8) 米粉麺等の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-8 |
| 2 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について | 輸出入-9 |
| 3 MA米の輸入数量(輸入先国別及び輸入方式別)
農林水産省(農産)HP https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html | 輸出入-11 |
| 4 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合せ結果(令和6年度) | 輸出入-12 |
| 5 SBS輸入米の見積合せ結果(令和6年度) | 輸出入-13 |
| 6 CPTPP・国別枠の見積合せ結果(令和6年度) | 輸出入-14 |

6 主食用米以外の情報

- | | |
|-------------------------------------|-------|
| 1 加工用米及び新規需要米等の生産状況
(1) 加工用米の生産量 | 主食外-1 |
| (2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移 | 主食外-1 |
| (3) 令和6年産 都道府県別の生産状況 | 主食外-2 |
| (4) 加工用米及び新規需要米における多収性品種 | 主食外-3 |
| (5) 新規需要米における米粉用向け専用品種 | 主食外-3 |
| 2 米加工品の状況
(1) 主な米加工品の生産状況 | 主食外-4 |
| (2) 令和3米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況(推計) | 主食外-5 |
| (3) 加工原材料用米穀の使用状況(推計)の推移 | 主食外-6 |
| 3 酒造好適米の需給状況
(1) 日本酒の出荷状況 | 主食外-7 |
| (2) 日本酒原料米の使用状況 | 主食外-7 |
| (3) 酒造好適米の生産量 | 主食外-8 |
| (4) 酒造好適米の需要量 | 主食外-8 |

「米に関するマンスリーレポート」では、米に関する価格や需給の動向に係るデータ・情報をより多くの方に、かつ、より有効に活用していただけるよう、情報の整理方法、提供方法等を見直しました。また、当省ホームページでの公表に際しては、本編・資料編に加え、カテゴリ別にも整理して掲載するとともに一部データ資料については、エクセルによる提供も開始しましたので、ぜひご活用ください。

米の基本指針（令和6年10月30日公表）の変更のポイント

（1）前回指針（7月30日）からの変更点

今回（10月30日）

○ 令和5/6年の主食用米等の需給実績（確定値）

（単位：万トン）

令和5年6月末民間在庫量	A	197
令和5年産主食用米等生産量	B	661
令和5/6年主食用米等供給量計	C=A+B	858
令和5/6年主食用米等需要量	D	705
令和6年6月末民間在庫量	E=C-D	153

②
①

- ・在庫量の確定に伴う変更
- ・在庫量の確定

○ 令和6/7年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

令和6年6月末民間在庫量	E	153
令和6年産主食用米等生産量	F	683
令和6/7年主食用米等供給量計	G=E+F	836
令和6/7年主食用米等需要量	H	674
令和7年6月末民間在庫量	I=G-H	162

③
④
⑤

- ・令和6年9月25日現在の予想収穫量に基づく変更
- ・1人当たり消費量に人口を乗じる手法により推計（最新値に更新）

○ 令和7/8年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

令和7年6月末民間在庫量	I	162
令和7年産主食用米等生産量	J	683
令和7/8年主食用米等供給量計	K=I+J	846
令和7/8年主食用米等需要量	L	663
令和8年6月末民間在庫量	M=K-L	182

⑥
⑦
⑧

- ・令和6年産の生産実績（令和6年9月25日現在の予想収穫量）と同水準の生産量
- ・1人当たり消費量に人口を乗じる手法により推計

注1：上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式による輸入米は含まれない。
注2：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

- 今後、令和6年産米の収穫量の確定や精米歩留まり、在庫、消費の動向等を見極め、令和7年年明け以降に食料・農業・農村政策審議会食糧部会を開催し、令和7年から令和8年にかけての需給見通しの見直しについて、改めて諮問することとします。

（参考）前回（7月30日）

○ 令和5/6年の主食用米等の需給実績（速報値）

（基本指針の図1「令和5/6年の需要実績（速報値）」に基づき作成）

（単位：万トン）

令和5年6月末民間在庫量	A	197
令和5年産主食用米等生産量	B	661
令和5/6年主食用米等供給量計	C=A+B	858
令和5/6年主食用米等需要量	D	702
令和6年6月末民間在庫量	E=C-D	156

○ 令和6/7年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

令和6年6月末民間在庫量	E	156
令和6年産主食用米等生産量	F	669
令和6/7年主食用米等供給量計	G=E+F	825
令和6/7年主食用米等需要量	H	673
令和7年6月末民間在庫量	I=G-H	152

注1：上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式による輸入米は含まれない。
注2：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 令和6/7年及び令和7/8年の需要見通し（推計値）

- 令和6/7年及び令和7/8年の需要見通しについて、平成30年11月の基本指針において採用した下記手法により算出すると、令和6/7年は674万トン、令和7/8年は663万トンとなります。

【需要見通しの算出方法】

- 平成8/9年から令和5/6年までの需要実績をそれぞれ当該年の人口で除し、各年の1人当たり消費量を算出
- ①で算出した値を用いたトレンド(回帰式)で、令和6/7年(令和6年7月から令和7年6月まで)及び令和7/8年(令和7年7月から令和8年6月まで)の1人当たり消費量(推計値)を算出
- ②で算出した値に令和6年及び令和7年の人口(推計値)を乗じて算出

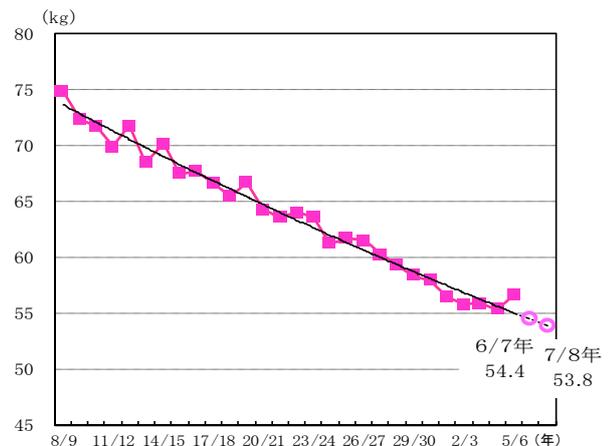
① 平成8/9年から令和5/6年までの1人当たり消費量を算出

年	需要実績 ①	人口 ②	1人当たり消費量 ①/②
	万トン	千人	kg
8/9	943.8	125,859	75.0
9/10	912.9	126,157	72.4
10/11	907.3	126,472	71.7
11/12	885.9	126,667	69.9
12/13	911.5	126,926	71.8
13/14	872.1	127,316	68.5
14/15	894.7	127,486	70.2
15/16	861.6	127,694	67.5
16/17	865.4	127,787	67.7
17/18	851.7	127,768	66.7
18/19	837.5	127,901	65.5
19/20	854.5	128,033	66.7
20/21	823.6	128,084	64.3
21/22	814.1	128,032	63.6
22/23	820.0	128,057	64.0
23/24	813.3	127,834	63.6
24/25	781.1	127,593	61.2
25/26	786.6	127,414	61.7
26/27	782.5	127,237	61.5
27/28	766.2	127,095	60.3
28/29	754.0	127,042	59.4
29/30	739.6	126,919	58.3
30/元	734.6	126,749	58.0
元/2	714.4	126,555	56.4
2/3	704.0	126,146	55.8
3/4	701.5	125,502	55.9
4/5	691.1	124,947	55.3
5/6	704.9	124,352	56.7

注：人口は、総務省「人口推計」の各年10月1日現在の値である。

② 令和6/7年及び令和7/8年の1人当たり消費量(推計値)を算出

年	x	1人当たり消費量(y)
8/9	1	75.0
9/10	2	72.4
10/11	3	71.7
11/12	4	69.9
12/13	5	71.8
13/14	6	68.5
14/15	7	70.2
15/16	8	67.5
16/17	9	67.7
17/18	10	66.7
18/19	11	65.5
19/20	12	66.7
20/21	13	64.3
21/22	14	63.6
22/23	15	64.0
23/24	16	63.6
24/25	17	61.2
25/26	18	61.7
26/27	19	61.5
27/28	20	60.3
28/29	21	59.4
29/30	22	58.3
30/元	23	58.0
元/2	24	56.4
2/3	25	55.8
3/4	26	55.9
4/5	27	55.3
5/6	28	56.7
6/7	29	54.4 (推計値)
7/8	30	53.8 (推計値)



※6/7年、7/8年の1人当たり消費量を5/6年の実績を踏まえ推計

<推計式>

$$y = 74.49197e^{-0.01084x}$$

$$R^2 = 0.9783$$

$$y = 74.46928e^{-0.01081x}$$

$$R^2 = 0.9774$$

③ 令和6/7年及び令和7/8年の1人当たり消費量(推計値)に令和6年及び令和7年の人口(推計値)を乗じて需要見通しを算出

【前回(7月30日)】

1人当たり消費量(推計値) ①	6/7年	54.4kg
人口(推計値) ②	6年	123,788千人
需要見通し ①×②	6/7年	673.4万トン



【今回(10月30日)】

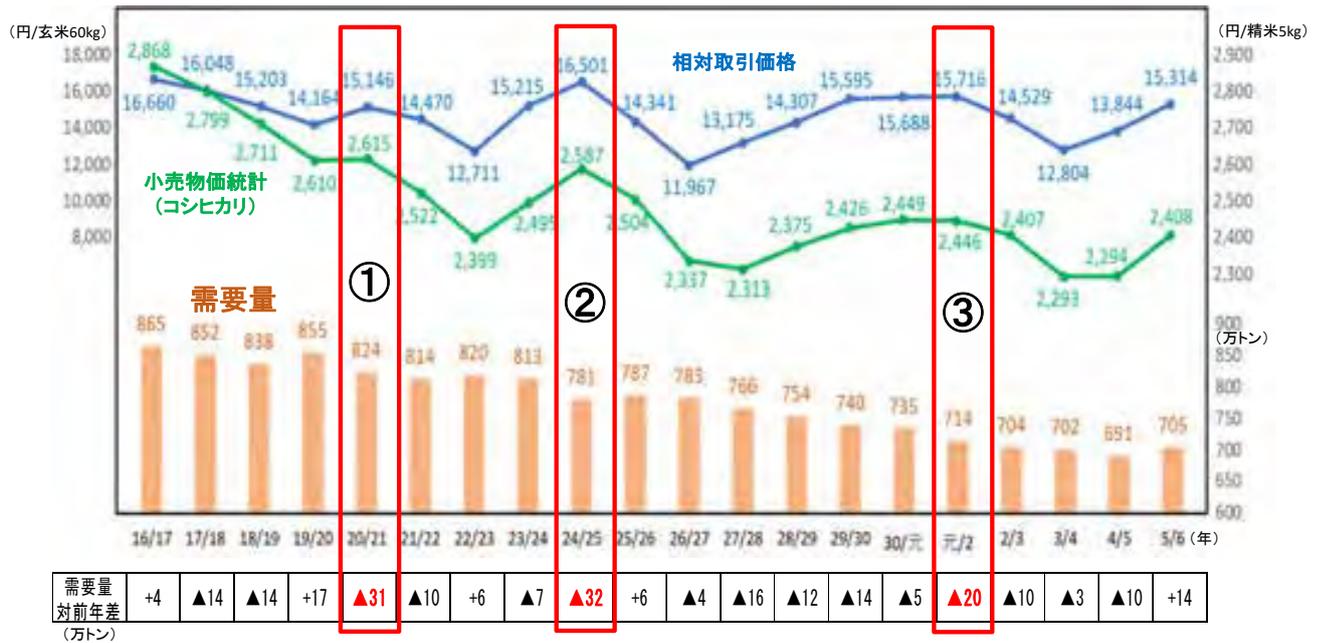
1人当たり消費量(推計値)	6/7年	7/8年	54.4kg	53.8kg
人口(推計値)	6年	7年	123,780千人	123,198千人
需要見通し	6/7年	7/8年	673.7万トン	663.4万トン

注1：人口(推計値)は、令和6年においては「人口推計(総務省、令和6年9月公表)」の総人口(令和6年9月1日現在(概算値)。以下「令和6年9月現在人口」という。)、令和7年においては令和6年9月現在人口に「日本の将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所、令和5年4月公表)」の令和6年10月1日から令和7年10月1日までの総人口(出生中位・死亡中位推計)の減少率を乗じて算出した値。

注2：図中の需要見通しは、1人当たり消費量(推計値)の実数に、人口(推計値)の実数を乗じて算出した値のため、図中の1人当たり消費量(推計値)(小数点第2位を四捨五入)に人口(推計値)(小数点第1位を四捨五入)を乗じて算出した値とは一致しない。

(参考) 過去における米価と需要の関係

【主食用米の需要量と相対取引価格・小売物価統計の推移】



- ※1 相対取引価格は、当該年産の出回りから翌年10月まで(5年産は出回りから令和6年9月までの速報値)の通年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。
 なお、17年産以前は(財)全国米穀取引・価格形成センター入札結果に基づく取引価格である。
- ※2 小売物価統計(コシヒカリ)は、総務省「小売物価統計」動向編による東京都区部における精米価格(7日以内の特売分を除く)であり、包装代、消費税相当額が含まれている。
- ※3 需要量は、当年7月から翌年6月までの主食用米等の需要量である。

【需要減の背景】

①	<p>＜需要の状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成20/21年の需要実績は824万トンと、前年実績差▲31万トン(▲3.6%)。 <p>＜米価の状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 食料の消費者物価指数が前年比+2.5%、うち、パンは前年比+10.1%、麺類は前年比+8.8%に対して、米は前年比+0.7%。 平成20年産米の相対取引価格は15,146円/60kgで、前年比+982円、+6.9%。 精米小売価格(コシヒカリ)は2,615円/5kgで、前年比+5円、+0.2%。
②	<p>＜需要の状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成24/25年の需要実績は781万トンと、前年実績差▲32万トン(▲4.0%)。 <p>＜米価の状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 食料の消費者物価指数が前年比▲1.1%、うち、パンは前年比▲2.7%、麺類は前年比▲1.8%に対して、米は前年比+7.5%。 平成24年産米の相対取引価格は16,501円/60kgで、前年比+1,286円、+8.5%。 精米小売価格(コシヒカリ)は2,587円/5kgで、前年比+92円、+3.7%。
③	<p>＜需要の状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元/2年の需要実績は714万トンと、前年実績差▲20万トン(▲2.7%)。 <p>＜米価の状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 食料の消費者物価指数が前年比+1.4%、うち、パンは前年比±0.0%、麺類は前年比+3.2%に対して、米は前年比+0.6%。 令和元年産米の相対取引価格は15,716円/60kgで、前年比+28円、+0.2%。 精米小売価格(コシヒカリ)は2,446円/5kgで、前年比▲4円、▲0.1%。 <p style="text-align: right;">コロナの影響</p>

注1 需要実績は、当年7月から翌年6月までの主食用米等の需要量。(資料:農林水産省「米穀の需給及び価格に関する基本指針」)
 注2 消費者物価指数は、月次データの当年7月から翌年6月までの指数を単純平均により算出。(資料:総務省「消費者物価指数(2020年基準)」)
 注3 精米小売価格は、月次データの当年7月から翌年6月までの価格(東京都区部におけるコシヒカリの価格)を単純平均により算出。(資料:総務省「小売物価統計 動向編」)

(3) 変更点の概要

① 令和6年6月末民間在庫量 【156万トン → 153万トン】

- ・ 「令和6年6月末民間在庫量」のうち、生産段階の在庫量について、改めて10月29日公表の「生産者の米穀在庫等調査結果」の「6月30日現在における在庫量」の確定値を基に推計（27.4万トン→24.8万トン）。
- ・ 出荷段階及び販売段階の在庫量について、速報値から確定値に更新（128.3万トン→127.9万トン）。
- ・ これらにより「令和6年6月末民間在庫量」を変更（確定）（「153万トン」）。

② 令和5/6年主食用米等需要量 【702万トン → 705万トン】

- ・ 上記①に伴い、令和5/6年主食用米等需要量を変更（確定）（「705万トン」）。

③ 令和6年産主食用米等生産量 【669万トン → 683万トン】

- ・ 令和6年9月25日現在の予想収穫量に基づき変更（「683万トン」）。

④ 令和6/7年主食用米等需要量 【673万トン → 674万トン】

- ・ ②の令和5/6年主食用米等需要量の確定値等を用い、改めて平成30年11月基本指針以降に採用している手法（1人当たり消費量（推計値）に人口（推計値）を乗じる手法）により算出し変更（「674万トン」）。

⑤ 令和7年6月末民間在庫量 【152万トン → 162万トン】

- ・ 上記①～④により、令和7年6月末民間在庫量を変更（「162万トン」）。

⑥ 令和7年産主食用米等生産量 【683万トン】

- ・ 令和6年産の生産実績（令和6年9月25日現在の予想収穫量）と同水準の「683万トン」と設定。

⑦ 令和7/8年主食用米等需要量 【663万トン】

- ・ ②の直近までの需要実績（確定値）を用い、④と同様、従来の算出方法（1人当たり消費量（推計値）に人口（推計値）を乗じる手法）により算出し、「663万トン」と設定。

⑧ 令和8年6月末民間在庫量 【182万トン】

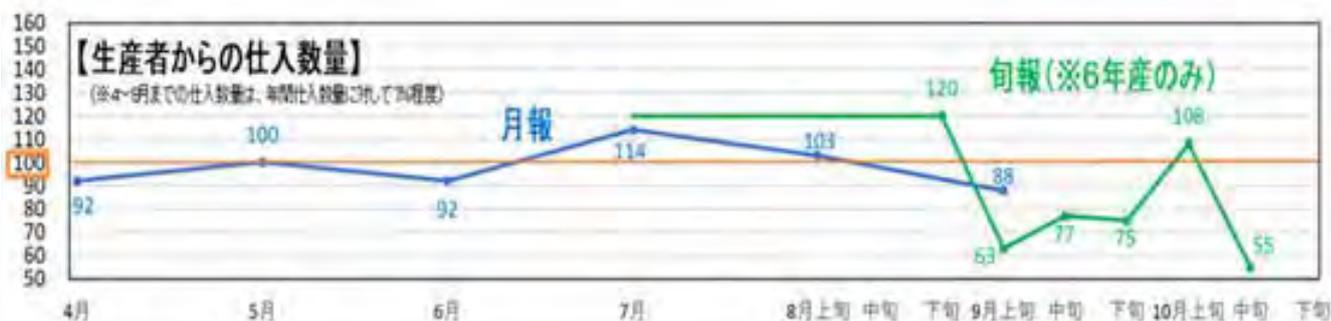
- ・ 上記⑤～⑦により、令和8年6月末民間在庫量を「182万トン」と設定。

今般の端境期の米の需要と供給の動向の背景・ 原因を踏まえた今後の対応について

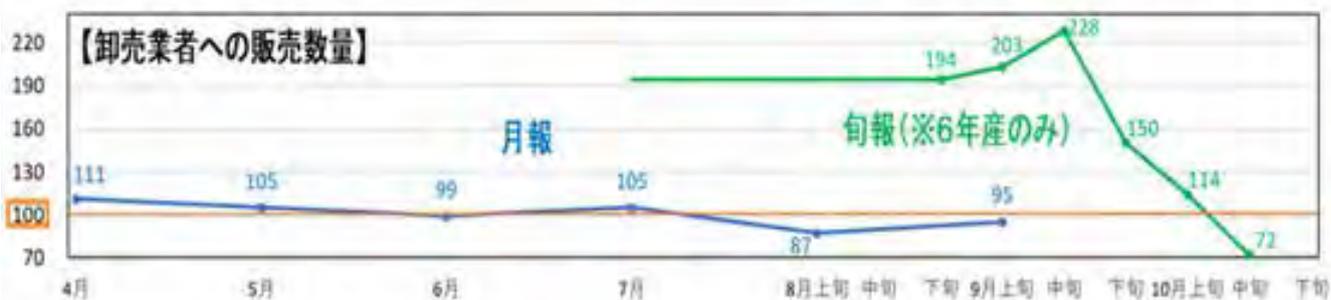
(1) それぞれの流通段階における供給状況（前年同期比）

- 一般的に、業務用向けへの米の供給は、古米から新米への切り替え時期が遅く（生産年翌年12月から翌々年3月頃までが多い）、他方、スーパー等の小売向けへの米の供給は、新米が出回るタイミングで古米から切り替わる。
- 各流通段階における供給状況は、集荷段階から小売段階までは、令和6年7月までは、前年同期比で昨年と同程度から昨年以上に供給が行われていた。
- そのような中で、8月の南海トラフ地震臨時情報等を受け、小売段階で消費者への販売（消費者の購入）が前年同期比で2割から4割を超えて増加したことから、各流通段階からの供給が追い付かない状況が発生した。

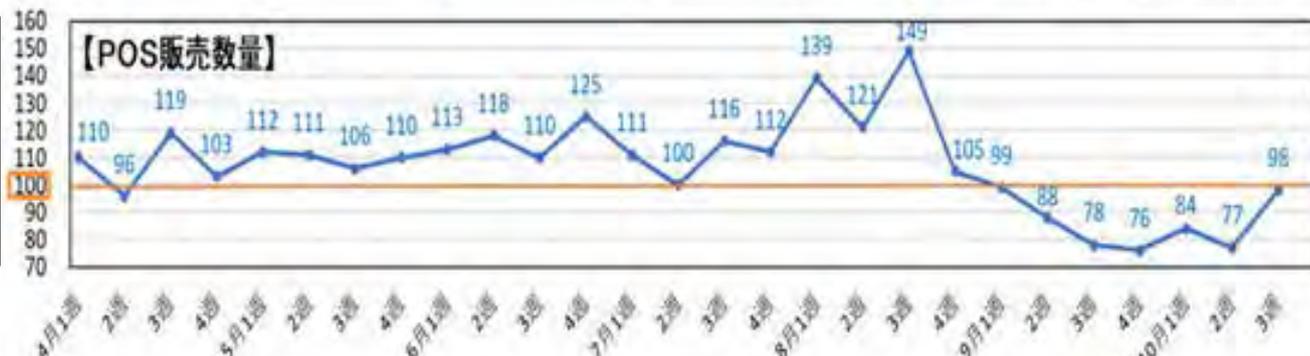
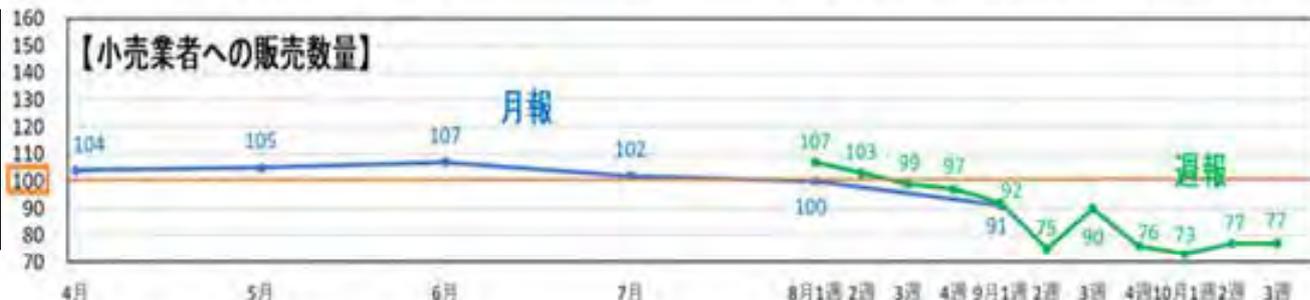
集荷業者



卸売業者



小売業者



※1：生産者等→集荷業者等。月報は500トン以上の集荷業者からの在庫調査結果。旬報は全国集荷団体から聞き取りによる。
 ※2：集荷業者等→卸売業者等。月報は500トン以上の集荷業者からの在庫調査結果。旬報は全国集荷団体から聞き取りによる。
 ※3：卸売業者等→小売業者等。月報は5万トン以上の卸売業者（30社）からの販売動向調査結果。週報は大手卸売業者（10社）からの聞き取りによる。
 ※4：小売業者等→消費者。POS販売数量は（株）KSP-SPが提供するPOSデータ（全国約1,000店舗が対象）による。

(2) 米の円滑な流通に関する取組状況

	令和6年 3月	4～6月	7月	8月	9月			
情報収集・発信	3月5日食糧部会 〔基本指針の見直し〕		7月30日食糧部会 〔基本指針の策定〕					
	「米に関するマンスリーレポート」による情報提供(毎月1回) 〔全国の産地見直しや在庫等の他、産地・銘柄別の価格動向、都道府県別の民間在庫量、消費動向などのデータを掲載〕							
通常の取組								
今般の特別な取組					卸売業者へ調査報告依頼 〔卸売業者へ令和6年7月下旬以降の米の仕入れや販売状況等について、各単位で調査報告を依頼〕 農水省HPIにて情報提供 〔米の需給の現状についてデータを整理・公表〕			
新米の出回り				新米の出回り 新米が8月頃から徐々に出回り始め、3月からは積極的に出回り(平年より1週間程度収穫が早い)				
関係団体との意見交換・働きかけ	5年度、6年度の流通の円滑化に関するヒアリング・働きかけ							
	<p>◆ 集荷業者、卸売業者等に対して定期的にヒアリングを実施 (令和6年4月以降 生産者団体:21回、卸売業者等:58回、小売業者等:20回、加工用米関係者:15回)</p> <table border="1"> <tr> <td>生産者団体:10回 卸売業者等:9回 小売業者等:10回 加工用米関係者:10回</td> <td>生産者団体:2回 卸売業者等:4回 小売業者等:4回 加工用米関係者:2回</td> <td>生産者団体:1回 卸売業者等:17回 小売業者等:16回 加工用米関係者:3回</td> <td>生産者団体:6回 卸売業者等:14回 小売業者等:1回</td> </tr> </table> <p>◆ 8月27日要請 生産者団体、卸売業者等に対して、主要用米の円滑な流通に関して要請</p> <p>◆ 9月6日要請 生産者団体、卸売業者等に対して、主要用米の集荷・販売等への一層の対応について改めて要請</p> <p>6年度の需要に応じた生産の働きかけ</p> <p>◆ 全国会議(令和5年9月～計5回) ◆ 生産者、県農業再生協議会、地域農業再生協議会等に対して、産地ごとの意見交換(キャラバン)を実施 ◆ 生産者団体や地方自治体とも連携し、県農業再生協議会やJA以外の幅広い集荷業者や農業法人等に対してもキャラバンを実施(令和5年9月～令和6年8月:4,244回)</p>					生産者団体:10回 卸売業者等:9回 小売業者等:10回 加工用米関係者:10回	生産者団体:2回 卸売業者等:4回 小売業者等:4回 加工用米関係者:2回	生産者団体:1回 卸売業者等:17回 小売業者等:16回 加工用米関係者:3回
生産者団体:10回 卸売業者等:9回 小売業者等:10回 加工用米関係者:10回	生産者団体:2回 卸売業者等:4回 小売業者等:4回 加工用米関係者:2回	生産者団体:1回 卸売業者等:17回 小売業者等:16回 加工用米関係者:3回	生産者団体:6回 卸売業者等:14回 小売業者等:1回					

(3) 今後の対応

① 分析で明らかになったこと

- 各流通段階における供給状況は、昨年と同程度から昨年以上に供給が行われていたが、8月の南海トラフ地震臨時情報等を受けた買い込み需要に各流通段階からの供給が追いつかない状況が発生した。
- 今年の春以降から情報収集や働きかけは行っていたが、品薄に関する特別な情報発信や流通関係者への働きかけは品薄状況が顕在化した8月下旬からの取組となった。
- 在庫量に占める業務用向けと小売向けとの比率は卸売業者によって大きく異なり、端境期において、必ずしも小売向けの比率が少なかった卸売業者だけではなく、業務用向けの契約分を取り崩して小売向けに販売を行った卸売業者も存在。

② 分析を受けた今後の対応

- 主要集荷業者・卸売業者に対する端境期前(6月以降)から端境期(9月中旬)までの集荷量、販売量、在庫量の週次調査の実施
- 卸売業者等やスーパー・米穀店等への流通実態に関する定期的なヒアリング
- 米の流通の現状のポイントをまとめて発信するなど消費者にもわかりやすい情報発信
- 米の需給に関する基本的な情報についての月例記者ブリーフィングの開催

作物統計調査

令和6年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

— 全国の10a当たり予想収量は540kgの見込み —

【調査結果の概要】

- 1 令和6年産水稻の作付面積（子実用）は135万9,000ha（前年産に比べ1万5,000ha増加）となった。うち主食用作付面積は125万9,000ha（前年産に比べ1万7,000ha増加）となった。
- 2 10月25日現在における全国の10a当たり予想収量は540kgと見込まれる。
これは、全国的にはおおむね天候に恵まれたためである。なお、一部地域で5月下旬から6月上旬にかけての低温や6月下旬から7月中旬にかけての断続的な日照不足、8月以降の記録的な高温等の影響により収量が低下した。
- 3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は734万5,000t（前年産に比べ18万t増加）と見込まれる。このうち、主食用の予想収穫量は679万2,000t（前年産に比べ18万2,000t増加）と見込まれる。
- 4 農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は101と見込まれる。

図1 全国農業地域別10a当たり予想収量(10月25日現在)
(1.70mmのふるい目幅ベース)



- 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積であり、主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である（特集-13ページ【参考1】参照）。
- 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、収穫を終えた地域では刈取り実測による結果であるが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定した結果である。したがって、今後の気象条件等により変動することがある。

○ 本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y4 】

水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a当たり収量及び収穫量(子実用)

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mmで選別された玄米の重量（未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。）としている。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

表1 ふるい目幅別重量分布状況の推移（全国）

年 産	計	単位：%					
		1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
令和元年産	100.0	0.7	1.4	1.9	2.8	15.3	77.9
2	100.0	0.7	1.4	1.9	2.9	14.4	78.7
3	100.0	0.8	1.4	1.8	2.8	14.7	78.5
4	100.0	0.9	1.5	1.9	2.9	14.9	77.9
5	100.0	0.6	1.0	1.3	2.1	10.2	84.8
6（概数値）	100.0	0.7	1.2	1.5	2.6	11.9	82.1
平均値	100.0	0.7	1.3	1.8	2.7	13.9	79.6
対平均差(ポイント)	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.1	△ 2.0	2.5

注：1 ふるい目幅別重量分布とは、それぞれのふるい目幅で選別された玄米の重量の割合である（以下同じ。）。

2 平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

表2 ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）の推移（全国）

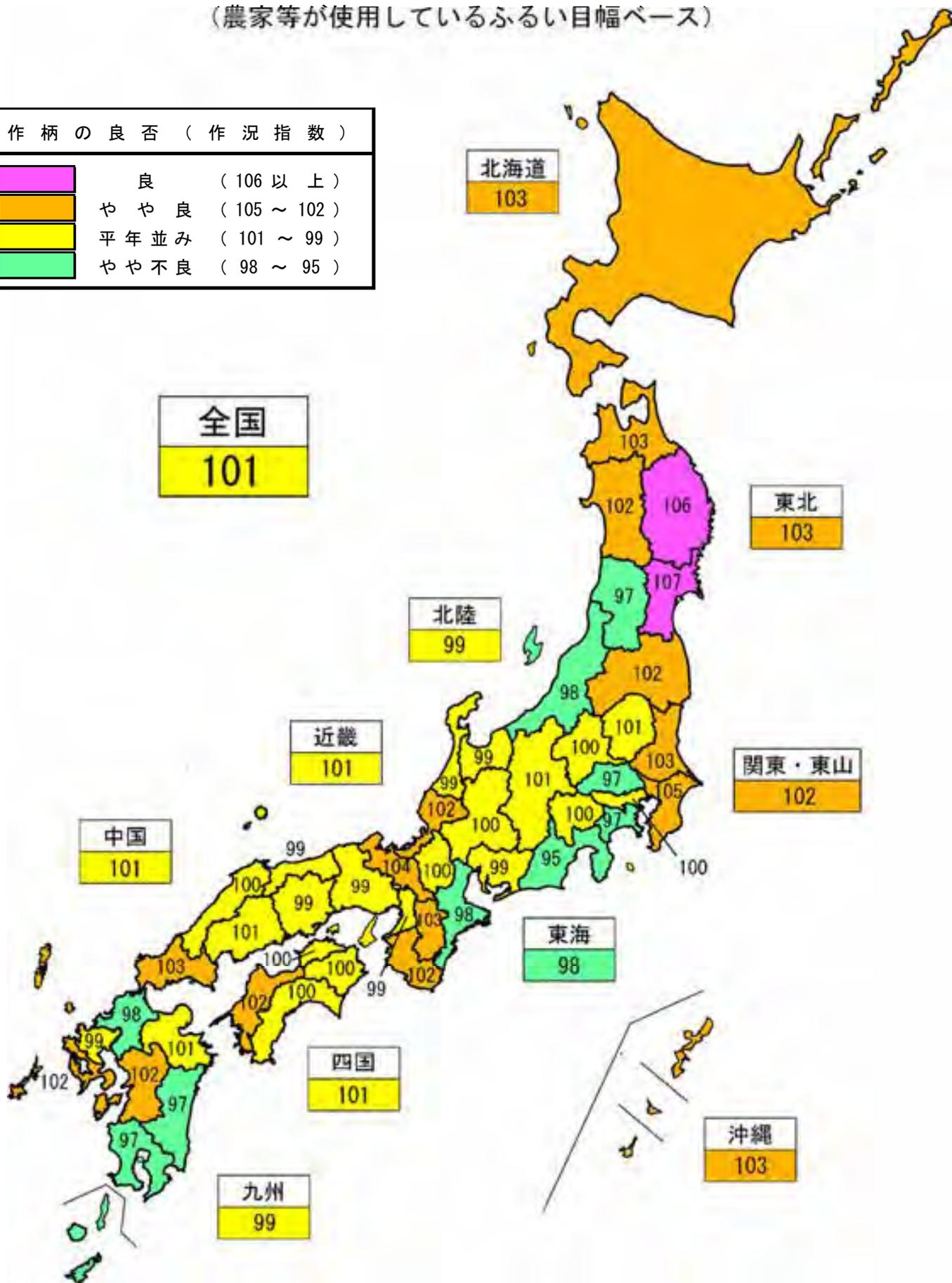
年 産	単位	1.70mm以上	1.75mm以上	1.80mm以上	1.85mm以上	1.90mm以上	2.00mm以上
		kg	kg	kg	kg	kg	kg
令和元年産	10a 当たり収量	528	524	517	507	492	411
	収穫量	7,762,000	7,708,000	7,599,000	7,452,000	7,234,000	6,047,000
2	10a 当たり収量	531	527	520	510	494	418
	収穫量	7,763,000	7,709,000	7,600,000	7,452,000	7,227,000	6,109,000
3	10a 当たり収量	539	535	527	517	502	423
	収穫量	7,563,000	7,502,000	7,397,000	7,260,000	7,049,000	5,937,000
4	10a 当たり収量	536	531	523	513	497	418
	収穫量	7,269,000	7,204,000	7,095,000	6,956,000	6,746,000	5,663,000
5	10a 当たり収量	533	530	524	518	506	452
	収穫量	7,165,000	7,122,000	7,050,000	6,957,000	6,807,000	6,076,000
6（概数値）	10a 当たり収量	540	536	530	522	508	443
	収穫量	7,345,000	7,294,000	7,205,000	7,095,000	6,904,000	6,030,000
	対前年比	%	%	%	%	%	%
		103	102	102	102	101	99

注：1 ふるい目幅別の10a当たり収量とは、全国の10a当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量(子実用)とは、全国の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

図2 全国農業地域・都道府県別作況指数（10月25日現在）
（農家等が使用しているふるい目幅ベース）

作柄の良否（作況指数）	
■	良（106以上）
■	やや良（105～102）
■	平年並み（101～99）
■	やや不良（98～95）



注：1 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。

2 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通栽培を合算したものである。また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の作況指数の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

表3 令和6年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量
(全国農業地域別)

全 国 農 業 地 域	作 付 面 積 (子 実 用)			10 a 当 たり 予 想 収 量			予 想 収 穫 量 (子 実 用)			主 食 用 作 付 面 積 ④	予 想 収 穫 量 (主 食 用) ⑤=④×②	作 況 指 数
	実 数 ①	前 年 産 と の 比 較		実 数 ②	平 年 と の 比 較	前 年 産 と の 比 較	実 数 ③=①×②	前 年 産 と の 比 較				
		対 差	対 比		対 差	対 差		対 比				
	ha	ha	%	kg	kg	kg	t	t	%	ha	t	
全 国	1,359,000	15,000	101	540	3	7	7,345,000	180,000	103	1,259,000	6,792,000	101
北 海 道	95,000	1,700	102	592	21	13	562,400	22,200	104	83,700	495,500	103
東 北	358,400	9,300	103	583	12	14	2,091,000	103,000	105	319,800	1,865,000	103
北 陸	197,000	△ 700	100	535	△ 3	22	1,053,000	38,000	104	175,800	938,800	99
関 東 ・ 東 山	248,000	8,500	104	545	6	1	1,352,000	50,000	104	235,000	1,282,000	102
東 海	86,600	△ 200	100	489	△ 11	△ 5	423,100	△ 5,600	99	83,400	407,500	98
近 畿	94,000	△ 700	99	507	△ 2	4	476,900	800	100	90,600	459,600	101
中 国	93,100	△ 900	99	512	△ 7	△ 2	476,900	△ 6,200	99	90,400	463,000	101
四 国	42,700	△ 400	99	481	△ 1	△ 1	205,200	△ 2,500	99	42,300	203,600	101
九 州	143,700	△ 1,600	99	489	△ 11	△ 8	703,000	△ 19,000	97	138,200	676,000	99
沖 縄	599	23	104	322	10	1	1,930	80	104	557	1,790	103

- 注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である。
- 2 10 a 当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 3 10 a 当たり予想収量の平年との比較は、10 a 当たり平年収量との比較である。
- 4 予想収穫量については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
- 5 主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 6 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。
- 7 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10 a 当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10 a 当たり収量と第二期稲の10 a 当たり平年収量の加重平均を用いた。

令和6年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

全 国 都道府県	作付面積（子実用）			10a当たり 予想収量 ②	農家等が使用している ふるい目幅で選別			
	実 数 ①	前年産との比較			最も多い 使用割合 の 目 幅 ③	10a当たり 予想収量 ④	10a当たり 平年収量 ⑤	作況指数 ⑥=④/⑤
		対差	対比					
	ha	ha	%	kg	mm	kg	kg	
全 国 (1)	1,359,000	15,000	101	540	...	519	513	101
北 海 道 (2)	95,000	1,700	102	592	1.90	562	544	103
青 森 (3)	42,400	1,900	105	623	1.90	598	578	103
岩 手 (4)	45,500	300	101	569	1.90	546	517	106
宮 城 (5)	62,800	1,900	103	583	1.90	550	516	107
秋 田 (6)	84,200	1,200	101	582	1.90	552	542	102
山 形 (7)	60,800	△ 200	100	583	1.90	553	570	97
福 島 (8)	62,700	4,300	107	569	1.85	546	534	102
茨 城 (9)	62,500	2,800	105	542	1.85	523	506	103
栃 木 (10)	53,000	1,600	103	540	1.85	521	515	101
群 馬 (11)	14,300	400	103	500	1.80	484	482	100
埼 玉 (12)	29,600	1,200	104	476	1.80	463	479	97
千 葉 (13)	50,600	2,900	106	569	1.80	559	533	105
東 京 (14)	107	△ 4	96	414	1.80	405	404	100
神 奈 川 (15)	2,840	△ 10	100	481	1.80	463	475	97
新 潟 (16)	116,200	400	100	536	1.85	515	524	98
富 山 (17)	35,000	△ 200	99	540	1.90	515	519	99
石 川 (18)	22,300	△ 1,100	95	521	1.90	495	498	99
福 井 (19)	23,500	200	101	531	1.90	494	483	102
山 梨 (20)	4,680	△ 70	99	534	1.85	518	516	100
長 野 (21)	30,300	△ 300	99	620	1.85	604	599	101
岐 阜 (22)	21,100	400	102	483	1.80	474	475	100
静 岡 (23)	14,500	△ 600	96	484	1.85	472	499	95
愛 知 (24)	26,200	400	102	497	1.85	480	484	99
三 重 (25)	24,900	△ 300	99	485	1.85	468	478	98
滋 賀 (26)	28,400	100	100	517	1.90	484	483	100
京 都 (27)	13,600	△ 200	99	527	1.85	512	492	104
大 阪 (28)	4,290	△ 150	97	483	1.80	472	478	99
兵 庫 (29)	34,000	△ 200	99	491	1.85	475	478	99
奈 良 (30)	8,000	△ 250	97	526	1.80	517	500	103
和 歌 山 (31)	5,680	△ 100	98	506	1.80	500	491	102
鳥 取 (32)	11,800	△ 100	99	502	1.85	491	495	99
島 根 (33)	15,900	△ 200	99	505	1.90	485	484	100
岡 山 (34)	28,000	200	101	510	1.85	496	499	99
広 島 (35)	20,600	△ 500	98	526	1.85	515	508	101
山 口 (36)	16,800	△ 300	98	513	1.85	497	481	103
徳 島 (37)	9,890	140	101	470	1.80	462	462	100
早期栽培 (38)	3,810	60	102	454	1.80	447	453	99
普通栽培 (39)	6,070	60	101	480	1.80	472	467	101
香 川 (40)	9,820	△ 380	96	491	1.80	481	479	100
愛 媛 (41)	12,700	△ 100	99	502	1.80	491	482	102
高 知 (42)	10,300	0	100	453	1.80	444	445	100
早期栽培 (43)	5,790	20	100	487	1.80	479	470	102
普通栽培 (44)	4,480	△ 70	98	409	1.80	400	413	97
福 岡 (45)	32,600	△ 200	99	467	1.85	442	452	98
佐 賀 (46)	22,400	200	101	505	1.85	482	487	99
長 崎 (47)	9,420	△ 580	94	487	1.80	472	465	102
熊 本 (48)	29,700	△ 300	99	516	1.85	487	479	102
大 分 (49)	18,000	△ 300	98	491	1.85	459	454	101
宮 崎 (50)	14,500	△ 200	99	481	1.80	467	482	97
早期栽培 (51)	5,410	△ 140	97	470	1.80	461	471	98
普通栽培 (52)	9,100	△ 70	99	487	1.80	470	489	96
鹿 児 島 (53)	17,100	△ 100	99	470	1.80	454	470	97
早期栽培 (54)	3,860	△ 70	98	446	1.80	437	452	97
普通栽培 (55)	13,200	△ 100	99	477	1.80	458	476	96
沖 縄 (56)	599	23	104	322	1.80	314	305	103
第一期稲 (57)	445	4	101	366	1.80	360	343	105
第二期稲 (58)	154	19	114	...	1.80	...	182	...

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である。

2 10a当たり予想収量(②)、予想収穫量(子実用)(⑦)及び予想収穫量(主食用)(⑨)は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 10a当たり予想収量(④)、10a当たり平年収量(⑤)及び作況指数(⑥)については、都道府県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。

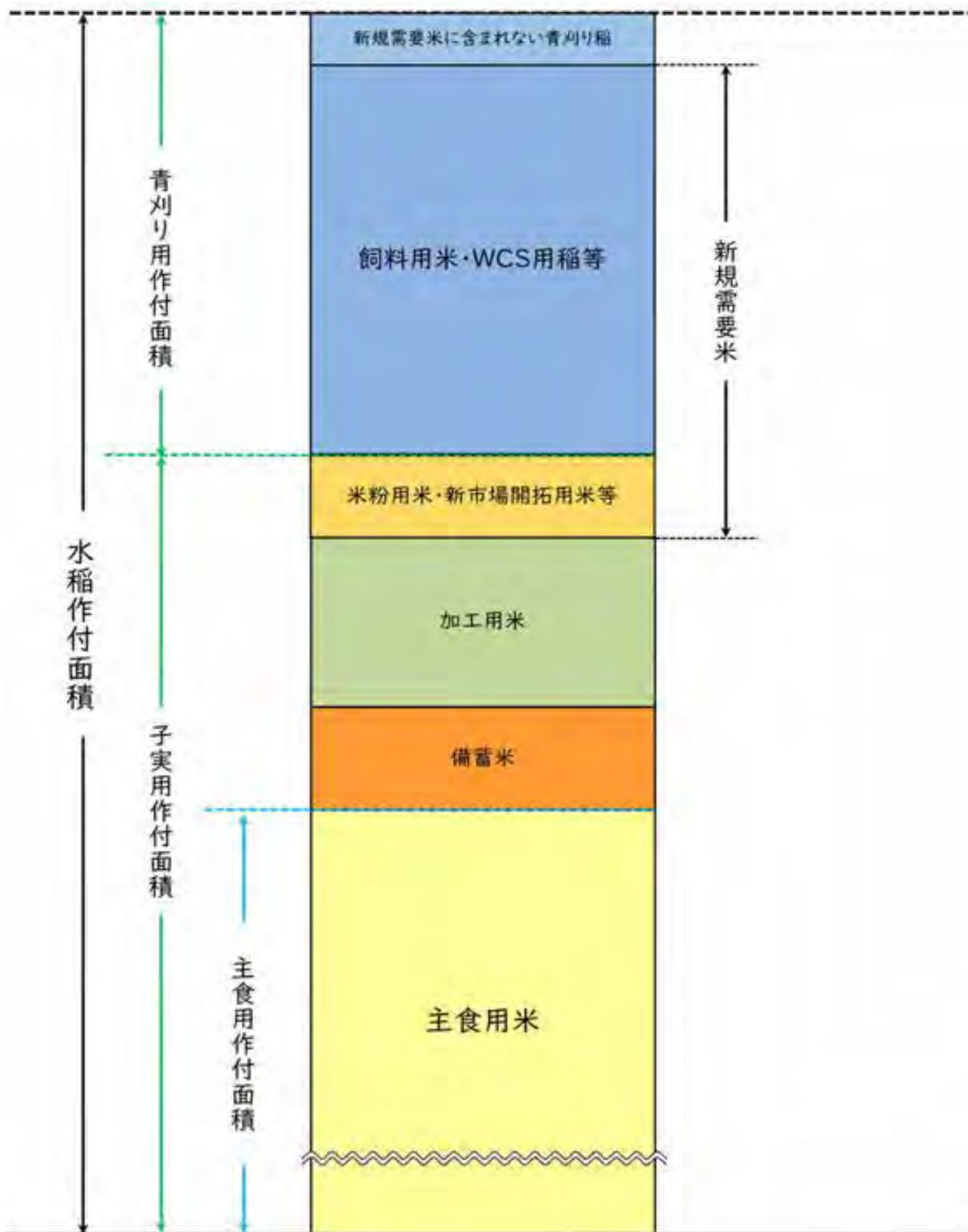
4 予想収穫量については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

全 国 都道府県	予想収穫量（子実用）			主食用 作付面積 ⑧	予 想 収 穫 量 （ 主 食 用 ） ⑨=⑧×②
	実 数 ⑦=①×②	前年産との比較			
		対差	対比		
	t	t	%	ha	t
全 国 (1)	7,345,000	180,000	103	1,259,000	6,792,000
北 海 道 (2)	562,400	22,200	104	83,700	495,500
青 森 (3)	264,200	15,500	106	37,200	231,800
岩 手 (4)	258,900	9,800	104	43,100	245,200
宮 城 (5)	366,100	21,400	106	58,400	340,500
秋 田 (6)	490,000	31,800	107	72,200	420,200
山 形 (7)	354,500	△ 4,800	99	52,400	305,500
福 島 (8)	356,800	29,200	109	56,500	321,500
茨 城 (9)	338,800	22,400	107	59,900	324,700
栃 木 (10)	286,200	2,000	101	49,000	264,600
群 馬 (11)	71,500	1,400	102	12,800	64,000
埼 玉 (12)	140,900	3,400	102	28,400	135,200
千 葉 (13)	287,900	22,200	108	48,300	274,800
東 京 (14)	443	△ 22	95	107	443
神 奈 川 (15)	13,700	△ 500	96	2,840	13,700
新 潟 (16)	622,800	31,100	105	101,400	543,500
富 山 (17)	189,000	3,100	102	31,200	168,500
石 川 (18)	116,200	△ 5,000	96	21,200	110,500
福 井 (19)	124,800	8,300	107	21,900	116,300
山 梨 (20)	25,000	△ 700	97	4,590	24,500
長 野 (21)	187,900	0	100	29,000	179,800
岐 阜 (22)	101,900	1,700	102	19,600	94,700
静 岡 (23)	70,200	△ 8,200	90	14,400	69,700
愛 知 (24)	130,200	6,400	105	25,000	124,300
三 重 (25)	120,800	△ 5,500	96	24,500	118,800
滋 賀 (26)	146,800	4,200	103	27,400	141,700
京 都 (27)	71,700	2,400	103	13,000	68,500
大 阪 (28)	20,700	△ 1,600	93	4,290	20,700
兵 庫 (29)	166,900	△ 3,100	98	32,200	158,100
奈 良 (30)	42,100	△ 600	99	7,960	41,900
和 歌 山 (31)	28,700	△ 500	98	5,680	28,700
鳥 取 (32)	59,200	2,000	103	11,600	58,200
島 根 (33)	80,300	△ 2,600	97	15,700	79,300
岡 山 (34)	142,800	△ 100	100	27,200	138,700
広 島 (35)	108,400	△ 4,500	96	20,100	105,700
山 口 (36)	86,200	△ 1,000	99	15,800	81,100
徳 島 (37)	46,500	800	102	9,790	46,000
早期栽培 (38)	17,300	400	102
普通栽培 (39)	29,100	200	101
香 川 (40)	48,200	△ 2,400	95	9,770	48,000
愛 媛 (41)	63,800	△ 800	99	12,700	63,800
高 知 (42)	46,700	△ 100	100	10,100	45,800
早期栽培 (43)	28,200	200	101
普通栽培 (44)	18,300	△ 600	97
福 岡 (45)	152,200	△ 5,200	97	32,200	150,400
佐 賀 (46)	113,100	△ 2,600	98	22,000	111,100
長 崎 (47)	45,900	△ 2,900	94	9,360	45,600
熊 本 (48)	153,300	△ 2,100	99	28,800	148,600
大 分 (49)	88,400	△ 1,500	98	17,800	87,400
宮 崎 (50)	69,700	△ 1,700	98	12,400	59,600
早期栽培 (51)	25,400	△ 1,600	94
普通栽培 (52)	44,300	△ 200	100
鹿 児 島 (53)	80,400	△ 3,000	96	15,600	73,300
早期栽培 (54)	17,200	△ 1,200	93
普通栽培 (55)	63,000	△ 2,200	97
沖 縄 (56)	1,930	80	104	557	1,790
第一期稲 (57)	1,630	90	106
第二期稲 (58)

- 5 主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 6 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、作期別の備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。
- 7 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平均収量の加重平均を用いた。

【参考1】

水稻作付面積の概念図



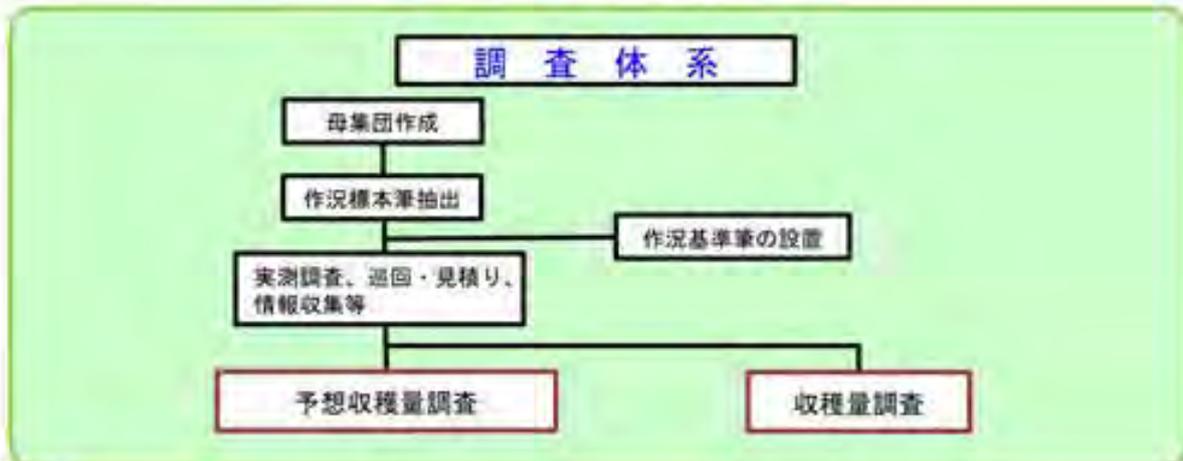
【参考2】水稲収穫量調査のしくみ

I 調査の概要

1 調査の目的及び体系

水稲収穫量調査は、国民の主食である米の需給対策や生産対策等の農政推進のための資料を作成することを目的として実施しています。

調査は、国の職員や専門調査員（非常勤の国家公務員）により行われます。



2 調査項目及び公表内容

7月及び8月に作柄概況を、10月及び11月に予想収穫量を、12月に収穫量を公表しています。

予想収穫量調査及び収穫量調査では、作況標本筆の実測調査結果を基本とし、併せて巡回・見積り及び情報収集を行い、下表に示す項目を把握します。

	公表時期	調査項目	主な公表内容
作柄概況 (7月15日現在)	7月下旬		・人工衛星データ等を利用した作柄予測手法による作柄文字情報（西南暖地の早期栽培等 [※] ）
作柄概況 (8月15日現在)	8月下旬		・人工衛星データ等を利用した作柄予測手法による作柄文字情報（西南暖地の早期栽培等を除く）
予想収穫量 (9月25日現在)	10月中旬	水稲の作付面積、穂数・もみ数等の生育状況、登熟状況等	・作況指数(全国・都道府県別) ・10a当たり予想収量(子実用)、 予想収穫量(主食用) ・作付面積(青刈りを含む面積、主食用)
予想収穫量 (10月25日現在)	11月中旬	水稲の作付面積、穂数・もみ数等の生育状況、登熟状況等	・作況指数(全国・都道府県・作柄表示地帯別) ・10a当たり予想収量(子実用)、 予想収穫量(子実用、主食用) ・作付面積(子実用、主食用)
収穫量	12月上旬	穂数・もみ数等の生育状況、登熟状況、10a当たり収量等	・作況指数(全国・都道府県・作柄表示地帯別) ・10a当たり収量(子実用)、 収穫量(子実用、主食用) ・作付面積(子実用、主食用)

注：1 調査項目は、地域ごとに生育ステージが異なるため代表的なものを記載しています。

2 沖縄県については、12月上旬公表時点で一部収穫を終えていない地域があり、その後作柄が変動する可能性があるため、翌年2月に公表する確定値を御確認ください。

※ 西南暖地の早期栽培等：8月中旬までに刈取りがおおむね終了する早期栽培の面積がおおむね3割以上占める県及び二期作のうちの第一期稲が栽培される沖縄県

II 調査の内容

1 調査箇所の抽出

①全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を母集団とします。②この母集団の中から全国で約8,000単位区を標本単位区として無作為に抽出します。③抽出された標本単位区ごとに水稲が作付けされている水田の中から無作為に抽出された1枚の水田を作況標本筆（調査対象ほ場）として抽出（注）します。④抽出された作況標本筆について、ほ場の対角線上から無作為に選択した3か所を調査箇所とします。



注：水稲収穫量調査は、飯用に供し得る玄米全量の把握を目的としており、作付けされた水稲が飼料用米など、食用以外の用途に供される水田については調査対象ほ場に選定しません。

2 収穫前段階の10a当たり収量の推定方法

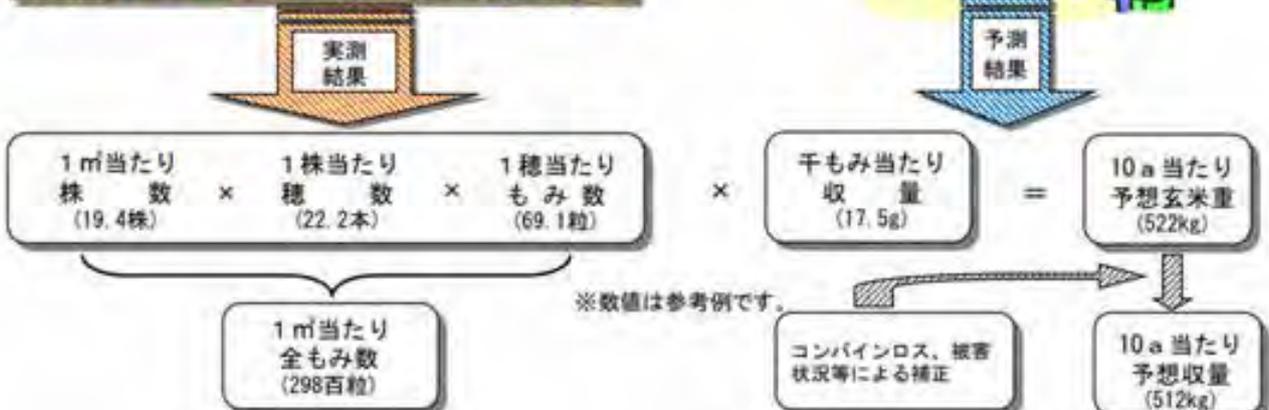
収穫期前に実施する予想収穫量調査では、穂数、もみ数、千もみ当たり収量などのうち実測可能な項目については作況標本筆で調査した実測値を用い、実測が不可能な項目については、過去の気象データ及び実測データを基に作成した予測式により推定した数値を用いて、10a当たり収量を予測しています。

なお、7月15日現在及び8月15日現在については、実測調査を行わず、気象データ及び人工衛星データに基づき10a当たり収量を予測しています。

作況標本筆における実測項目

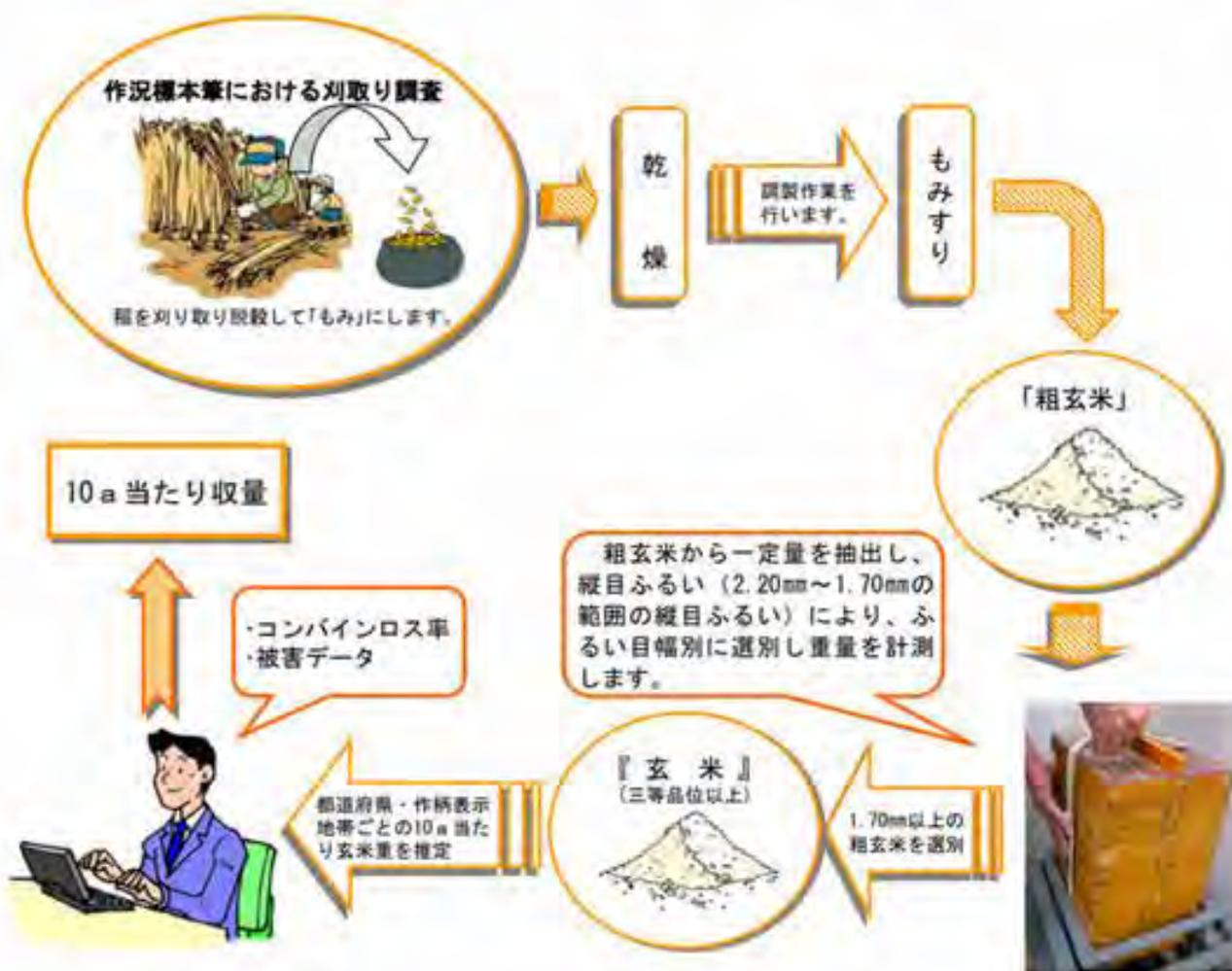


- ・過去の気象データ
- ・当年の気象データ
- ・過去の実測データ
- ・当年の実測データ（実測が完了したもの）



3 収穫期の調査方法

収穫期に実施する収穫量調査は、各作況標本筆について3か所の調査箇所ごとに1㎡分の稲を刈り取り、脱穀・乾燥・もみすりを行った後に、一定量を抽出し、飯用に供し得る玄米（農産物規格規程に定める三等の品位に相当する1.70mm以上のふるい目を基準とした玄米）となるように選別を行い、その重さを計測し、都道府県及び作柄表示地帯ごとの10a当たり玄米重を推定します。この玄米重データに収穫時のコンバインのロス率や被害データ等を加味して全国、各都道府県及び作柄表示地帯の「10a当たり収量」を決定しています。



4 作況指数の求め方

作況指数は、作柄の良否を表す指標で、その年の「10a当たり平年収量」に対する「10a当たり(予想)収量」の比率で表します。
作況指数の公表は、10月中旬、11月中旬及び12月上旬に行っています。

$$\text{作況指数} = \frac{\text{10a当たり(予想)収量}}{\text{10a当たり平年収量}} \times 100$$

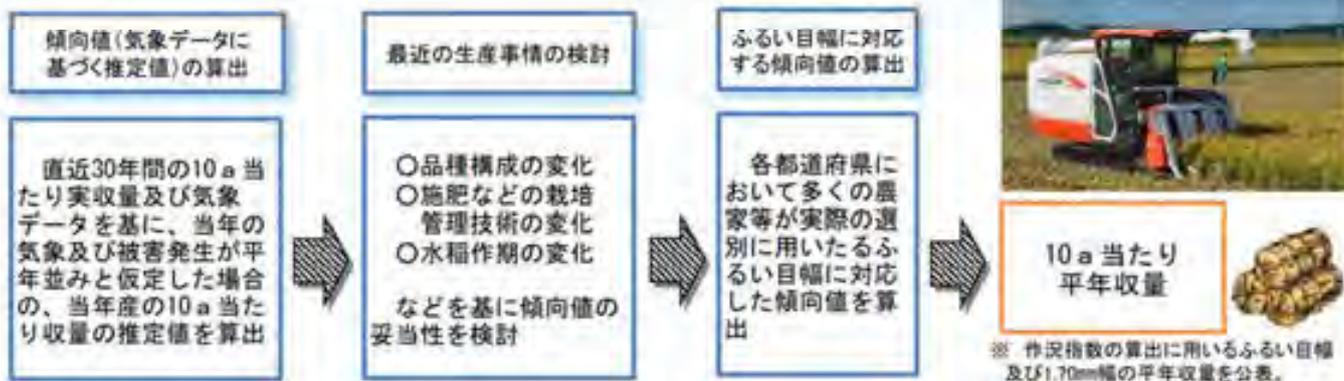
※ 作況指数の算定に用いるふるい目幅は、都道府県ごとに「農家等が使用したふるい目幅の分布（水稲作況標本（基準）筆農家からの聞き取り結果）の過去5か年平均において、最も多い使用割合を占めるふるいの目幅」としています。

令和6年産の作況指数の算出に用いるふるい目幅

都道府県	ふるい目幅	都道府県	ふるい目幅	都道府県	ふるい目幅	都道府県	ふるい目幅
北海道	1.90mm	東京	1.80mm	滋賀	1.90mm	香川	1.80mm
青森	1.90mm	神奈川	1.80mm	京都	1.85mm	愛媛	1.80mm
岩手	1.90mm	新潟	1.85mm	大阪	1.80mm	高知	1.80mm
宮城	1.90mm	富山	1.90mm	兵庫	1.85mm	福岡	1.85mm
秋田	1.90mm	石川	1.90mm	奈良	1.80mm	佐賀	1.85mm
山形	1.90mm	福井	1.90mm	和歌山	1.80mm	長崎	1.80mm
福島	1.85mm	山梨	1.85mm	鳥取	1.85mm	熊本	1.85mm
茨城	1.85mm	長野	1.85mm	島根	1.90mm	大分	1.85mm
栃木	1.85mm	岐阜	1.80mm	岡山	1.85mm	宮崎	1.80mm
群馬	1.80mm	静岡	1.85mm	広島	1.85mm	鹿児島	1.80mm
埼玉	1.80mm	愛知	1.85mm	山口	1.85mm	沖縄	1.80mm
千葉	1.80mm	三重	1.85mm	徳島	1.80mm		

Ⅲ 10a当たり平年収量の算出方法

10a当たり平年収量とは、水稻を作付けする前に、その年の気象推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢を基に作成されたその年の10a当たり予想収量であり、有識者の意見も聴いて決定されるものです。



具体的には

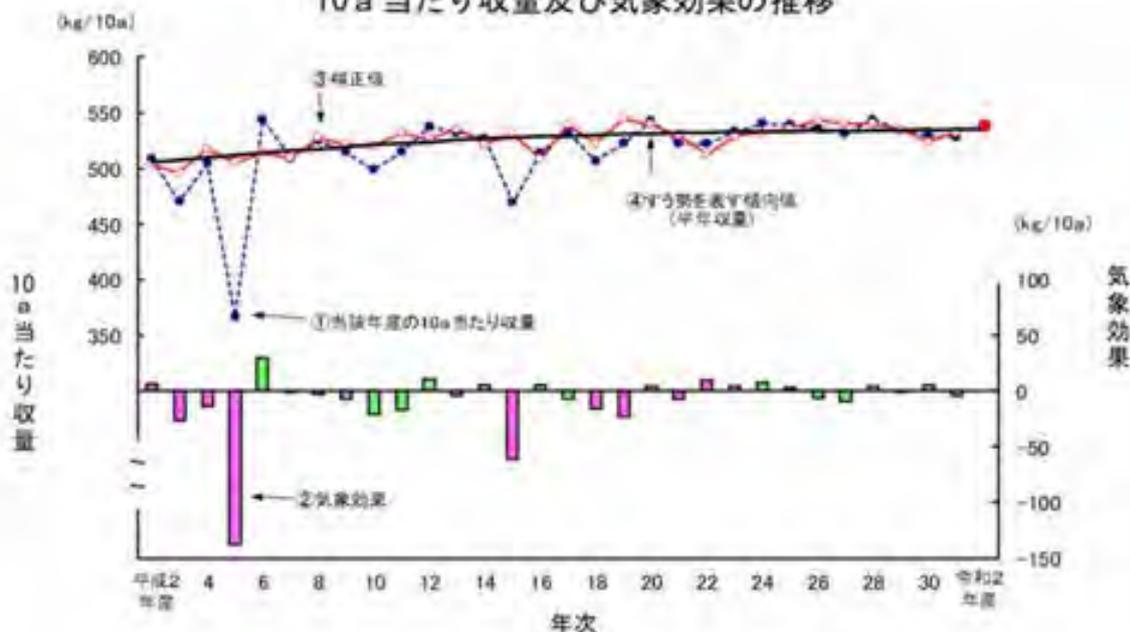
傾向値の算出方法

- ① 10a 当たり収量
- ② 気象効果(気象要因による変動のことで「気象指数」により表す)

気象指数とは、アメダス気象データ(日平均気温、日最高気温、日最低気温、日降水量、推定日射量、日最大風速)を基に算出した総合的な気象の指標です。

- ③ 補正值(10a 当たり収量から気象効果部分を除いたもの)
- ④ 平年収量(補正值を基に一定の推計式により計算したすう勢を表す傾向値)

10a 当たり収量及び気象効果の推移



IV 調査結果について

1 選別ふるい目幅について

農家等が販売するために使用している選別ふるい目幅は、地域により1.70mm～2.00mm以上と様々ですが、農家等のふるい下米は、更に選別され、その一部も飯用に使用されています。

このため、水稻収穫量調査では、加工用米等を含めた飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量を収量としています。

農家等が使用しているふるい目幅の分布状況（例）

区分		合計	1.70mm	1.75mm	1.80mm	1.85mm	1.90mm	2.00mm以上
全	国	100.0	0.3	3.0	24.9	38.1	32.8	0.9
北	海	道	-	-	0.3	16.8	77.4	5.5
東	北	100.0	0.0	0.0	0.2	18.2	81.6	0.0
北	陸	100.0	-	0.2	1.4	19.5	57.4	1.5
関	東・東山	100.0	0.9	6.4	44.1	45.9	2.6	0.1
東	海	100.0	0.1	2.5	32.8	51.8	12.2	0.5
近	畿	100.0	0.6	6.1	42.7	33.5	14.2	2.9
中	国	100.0	-	0.7	12.3	75.5	10.2	0.7
四	国	100.0	-	11.2	66.9	21.6	0.2	-
九	州	100.0	0.3	3.4	45.0	42.7	7.5	0.1

単位：%

※ 沖縄は表裏されていませんが、全国の値に含まれます。

調査結果の公表に当たっては、実際にその地域の農家等が用いているふるい目幅でどのくらいの収量になるか分かるように「ふるい目幅別重量分布状況、収穫量及び10a当たり収量」を作成し、公表資料に掲載しています。

水稻玄米のふるい目幅別10a当たり収量（例）

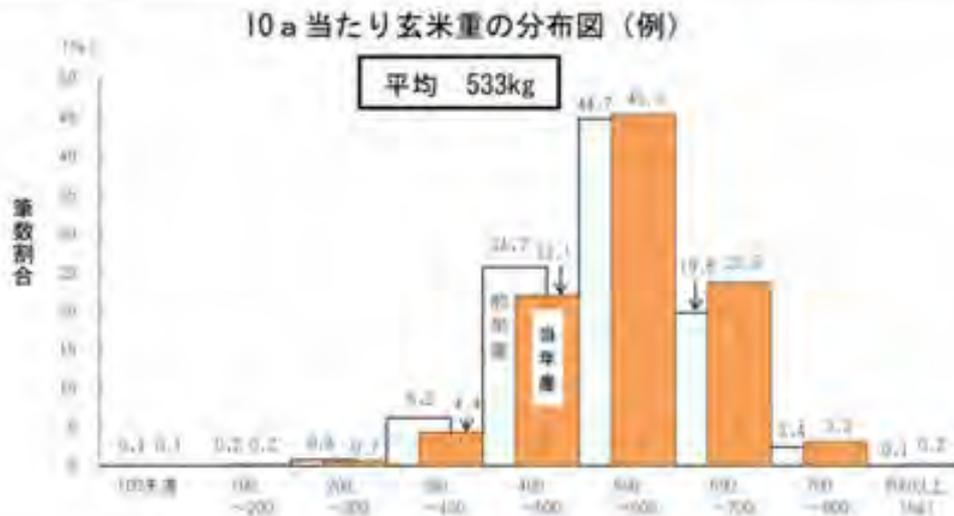
単位：kg

全 国 都道府県	ふるい目幅別10a当たり収量 (kg)					
	1.70mm 選別	1.75mm 選別	1.80mm 選別	1.85mm 選別	1.90mm 選別	2.00mm 選別
全 国	544	540	534	524	511	435
北 海 道	551	548	542	536	525	463
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
沖 縄	289	287	284	280	275	253

注：ふるい目幅別の10a当たり収量は、都道府県の10a当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 10a当たり玄米重の分布と平均値について

作況標本筆の実測結果から求める10a当たり収量や作況指数は、各都道府県内の平均値を表しているため、個々の農家から見ると高く感じられたり、逆に低く感じられたりすることがあります。このため、平成27年産より作況標本筆の10a当たり玄米重の分布を参考情報として提供しています。



V 水稲収穫量調査結果の主な利活用

- ☆ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ☆ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況の検証のための資料
- ☆ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ☆ 農業保険法に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

1 米の民間在庫情報

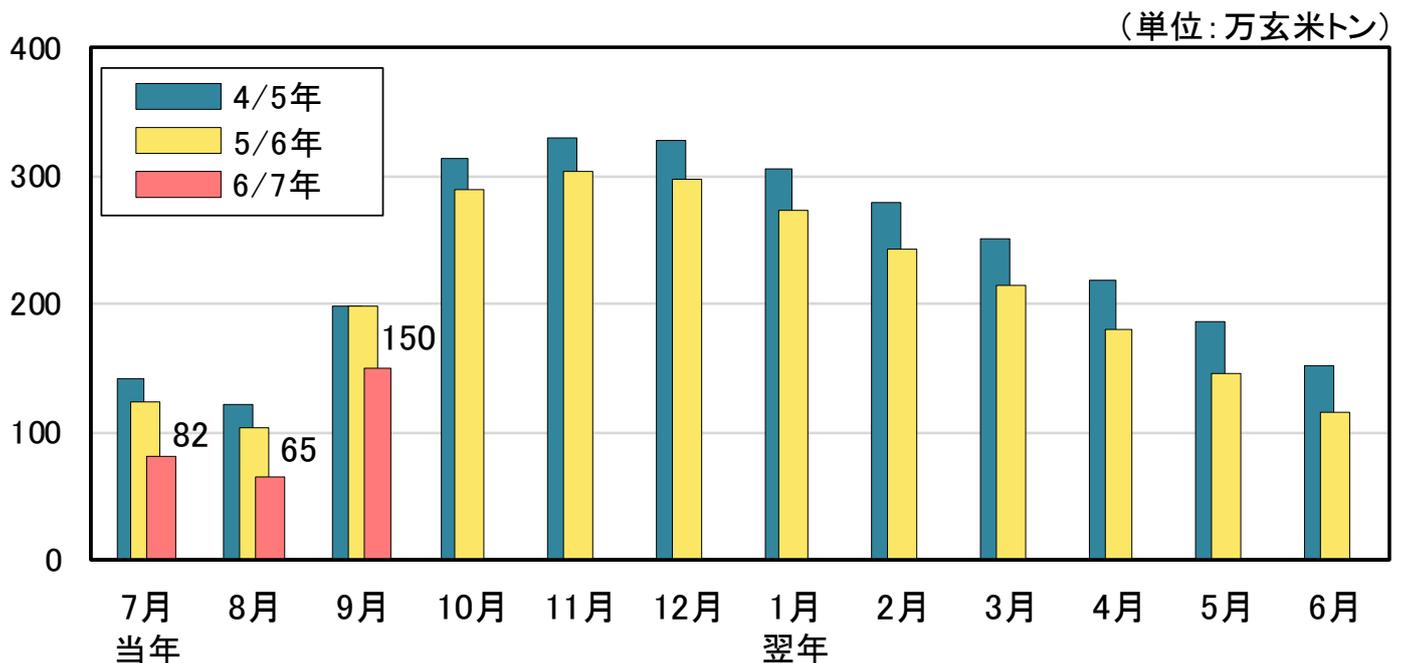
1 民間在庫の推移

(1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

民間在庫の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

- 令和6年9月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、対前年同月差▲49万トンの150万トンとなっている。また、流通段階別でみると出荷段階で対前年同月差▲47万トンの114万トン、販売段階で▲2万トンの36万トンとなっている。

※ 出荷・販売段階別の在庫量は、「在庫-3、4」を参照。



【令和6年9月末民間在庫量のポイント】

- 毎月公表している民間在庫量は、①500トン以上の集荷業者、②4,000トン以上の卸売業者が対象。およそ民間の流通在庫全体の75%をカバー(下記参考参照)。
 - 令和6年9月末の民間在庫量は150万トンとなり、平成23年9月末(134万トン)を上回り、平成30年9月末(151万トン)とほぼ同水準。
 - 在庫率としては、令和6年9月末は22%であり、平成23年9月末(16%)を上回り、平成29年から令和元年9月末(21~23%)とほぼ同水準。
- ※ 在庫率は上記対象事業者の在庫量を全体の需要で割ったもの。



※22年以前は、政府備蓄米の運営を回転備蓄方式で実施していたため、政府備蓄米がこの他に主食用米として販売されている。

(参考) 毎月公表している民間在庫量の調査対象の範囲

	出荷段階	販売段階		生産段階
	年間取扱 500ト以上	年間取扱 4,000ト以上	年間取扱 500~ 4,000ト	
うるち米	【毎月調査ベース】 6月末在庫 115万トン ↓ 9月末在庫 150万トン			
もち米				

【米の基本指針ベース】
153万トン
(※6月末のみ調査)

【全国段階の民間在庫の推移(うるち米)】

【出荷＋販売段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
30/元年	102	87	151	288	305	301	282	258	227	192	161	131
対前年差	▲6	▲1	▲4	+5	▲10	▲10	▲6	▲5	▲7	▲9	▲5	▲3
30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
1年古米(29年産)	97	67	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
元/2年	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
対前年差	▲3	▲9	+10	+6	+10	+17	+13	+7	+6	+11	+16	+23
元年産米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
2/3年	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173
対前年差	+20	+21	+29	+30	+29	+24	+26	+27	+31	+27	+21	+19
2年産米	0	12	124	266	297	304	291	269	245	214	185	162
1年古米(元年産)	112	84	61	51	40	31	23	17	13	11	9	7
3/4年	138	118	214	330	351	349	326	299	270	238	204	172
対前年差	+19	+17	+24	+6	+6	+7	+5	+6	+6	+7	+5	▲1
3年産米	0	11	129	253	285	293	278	258	236	208	179	149
1年古米(2年産)	129	99	77	68	57	47	39	33	28	23	19	17
4/5年	142	122	199	313	330	328	306	280	251	219	186	153
対前年差	+4	+4	▲15	▲18	▲21	▲21	▲20	▲19	▲20	▲18	▲19	▲18
4年産米	1	12	112	236	263	273	259	240	217	191	163	134
1年古米(3年産)	124	94	71	59	49	40	33	26	21	17	14	11
5/6年	123	104	199	289	303	298	274	244	214	180	145	115
対前年差	▲20	▲18	±0	▲23	▲26	▲31	▲32	▲36	▲37	▲39	▲40	▲38
5年産米	1	14	131	232	254	260	245	221	195	165	133	105
1年古米(4年産)	106	78	56	46	36	27	21	15	13	10	7	5
6/7年	82	65	150									
対前年差	▲40	▲39	▲49									
6年産米	1	13	113									
1年古米(5年産)	74	47	31									

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
 4 期間については、6/7年であれば、令和6年7月～6年6月である。
 5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。

【出荷段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
30/元年	76	63	120	236	252	249	235	215	183	150	127	101
対前年差	▲8	▲3	▲4	+5	▲10	▲8	▲5	▲3	▲4	▲7	▲4	▲2
30年産米	1	14	90	219	240	240	228	211	180	148	125	100
1年古米(29年産)	74	48	30	15	11	7	5	4	3	2	2	1
元/2年	74	55	128	238	257	261	244	219	184	157	138	109
対前年差	▲2	▲8	+8	+2	+5	+13	+9	+4	+1	+7	+11	+8
元年産米	0	7	99	222	246	254	238	214	181	155	136	108
1年古米(30年産)	73	47	28	14	9	6	4	3	2	2	1	1
2/3年	84	70	151	265	285	284	269	245	217	186	162	132
対前年差	+10	+15	+23	+27	+27	+22	+26	+27	+33	+29	+24	+23
2年産米	0	9	108	236	263	268	258	237	211	182	158	129
1年古米(元年産)	82	60	42	28	20	14	10	7	5	4	3	3
3/4年	106	90	178	277	298	296	279	256	226	196	169	139
対前年差	+22	+20	+27	+12	+13	+12	+10	+11	+9	+10	+7	+7
3年産米	0	8	115	227	255	261	249	231	206	179	154	126
1年古米(2年産)	103	80	61	47	40	33	28	24	19	16	14	13
4/5年	116	98	166	262	277	276	259	236	204	176	149	121
対前年差	+10	+8	▲12	▲15	▲21	▲20	▲20	▲20	▲22	▲20	▲20	▲18
4年産米	0	9	97	208	231	239	228	210	185	160	136	110
1年古米(3年産)	103	78	58	44	36	29	24	19	14	11	9	7
5/6年	95	78	161	235	249	246	228	202	171	139	112	84
対前年差	▲21	▲20	▲5	▲27	▲28	▲31	▲31	▲34	▲33	▲36	▲38	▲37
5年産米	0	10	113	200	220	225	212	190	163	134	108	81
1年古米(4年産)	86	61	42	30	24	17	13	10	6	4	3	2
6/7年	58	44	114									
対前年差	▲38	▲34	▲47									
6年産米	0	9	90									
1年古米(5年産)	55	33	22									

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

【販売段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
30/元年	26	25	31	53	53	53	47	43	44	42	35	30
対前年差	+3	+2	±0	±0	±0	▲1	▲1	▲2	▲4	▲2	▲2	▲1
30年産米	0	4	13	29	33	37	34	33	36	36	30	27
1年古米(29年産)	23	19	16	21	17	13	10	8	6	5	4	3
元/2年	26	24	33	56	58	57	51	47	49	46	40	45
対前年差	±0	▲1	+2	+3	+4	+4	+4	+4	+5	+4	+5	+14
元年産米	0	3	16	32	37	40	38	36	40	38	33	38
1年古米(30年産)	22	18	15	20	15	10	8	6	5	4	3	2
2/3年	35	31	39	59	60	58	52	48	48	44	37	41
対前年差	+10	+7	+6	+3	+2	+1	+1	+1	▲2	▲2	▲3	▲4
2年産米	0	3	15	30	34	36	33	32	34	33	27	33
1年古米(元年産)	30	24	19	23	20	16	13	10	9	7	6	4
3/4年	32	28	36	53	53	53	46	43	44	42	35	32
対前年差	▲3	▲2	▲3	▲5	▲7	▲5	▲6	▲4	▲3	▲2	▲2	▲8
3年産米	0	3	14	26	30	32	29	28	30	30	25	24
1年古米(2年産)	25	20	16	20	16	14	11	9	9	7	5	4
4/5年	26	25	33	50	52	52	47	44	46	43	36	33
対前年差	▲6	▲4	▲3	▲3	▲1	▲1	+1	+1	+2	+2	+1	±0
4年産米	0	3	15	28	32	34	31	31	32	31	26	24
1年古米(3年産)	20	17	13	15	13	11	8	7	8	7	5	4
5/6年	27	26	38	54	54	52	46	42	43	41	34	31
対前年差	+1	+2	+5	+3	+2	±0	±0	▲3	▲3	▲3	▲3	▲2
5年産米	0	4	18	32	34	35	32	31	32	31	26	24
1年古米(4年産)	20	17	14	16	12	10	8	6	6	6	4	3
6/7年	25	21	36									
対前年差	▲3	▲5	▲2									
6年産米	0	4	22									
1年古米(5年産)	19	13	9									

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

(2) 産地別民間在庫の状況（速報）

	5年	5年	6年	対前年	対前年	6年	対前月差	対前年	対前年
	8月	9月	8月	同月差	同月比	9月	⑦=⑥-③	同月差	同月比
	①	②	③	④=③-①	⑤=③/①	⑥	⑦=⑥-③	⑧=⑥-②	⑨=⑥/②
	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(%)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(%)
北海道	91.0	180.6	49.2	▲ 41.8	▲ 46.0%	171.6	122.4	▲ 9.0	▲ 5.0%
青森	46.6	101.2	23.5	▲ 23.1	▲ 49.5%	68.0	44.5	▲ 33.2	▲ 32.8%
岩手	46.2	52.4	29.2	▲ 17.0	▲ 36.7%	38.2	8.9	▲ 14.2	▲ 27.1%
宮城	69.7	116.5	37.9	▲ 31.7	▲ 45.5%	67.0	29.0	▲ 49.5	▲ 42.5%
秋田	48.8	113.4	21.8	▲ 27.0	▲ 55.4%	104.0	82.2	▲ 9.5	▲ 8.3%
山形	61.0	102.7	39.3	▲ 21.8	▲ 35.7%	73.3	34.1	▲ 29.4	▲ 28.6%
福島	55.9	69.4	40.9	▲ 15.0	▲ 26.9%	53.9	13.0	▲ 15.6	▲ 22.4%
茨城	54.9	125.7	36.7	▲ 18.2	▲ 33.2%	100.2	63.5	▲ 25.5	▲ 20.3%
栃木	58.2	122.5	36.8	▲ 21.3	▲ 36.7%	90.7	53.9	▲ 31.8	▲ 26.0%
群馬	9.0	6.7	4.6	▲ 4.4	▲ 48.9%	3.0	▲ 1.6	▲ 3.8	▲ 55.9%
埼玉	13.2	20.7	5.3	▲ 7.9	▲ 60.1%	9.1	3.9	▲ 11.6	▲ 55.9%
千葉	51.7	83.1	52.5	+ 0.8	+ 1.6%	72.3	19.8	▲ 10.8	▲ 13.0%
東京	0.0	0.0	0.0	+ 0.0	-	0.0	0.0	+ 0.0	-
神奈川	0.5	0.8	0.4	▲ 0.1	▲ 13.2%	0.5	0.1	▲ 0.3	▲ 39.0%
山梨	1.6	2.8	1.5	▲ 0.1	▲ 5.2%	2.4	0.9	▲ 0.4	▲ 13.6%
長野	27.0	38.1	18.2	▲ 8.8	▲ 32.6%	29.5	11.4	▲ 8.6	▲ 22.6%
静岡	6.3	16.7	5.0	▲ 1.3	▲ 20.9%	13.8	8.8	▲ 2.9	▲ 17.2%
新潟	65.0	238.9	42.4	▲ 22.5	▲ 34.7%	165.9	123.4	▲ 73.1	▲ 30.6%
富山	28.6	76.8	17.1	▲ 11.4	▲ 40.1%	59.7	42.6	▲ 17.1	▲ 22.2%
石川	25.3	69.6	19.7	▲ 5.7	▲ 22.4%	58.4	38.7	▲ 11.2	▲ 16.1%
福井	20.4	45.2	13.2	▲ 7.2	▲ 35.3%	48.7	35.5	+ 3.5	+ 7.7%
岐阜	15.4	15.9	6.9	▲ 8.5	▲ 55.1%	7.5	0.6	▲ 8.4	▲ 52.8%
愛知	11.3	18.0	8.3	▲ 3.0	▲ 26.9%	11.2	2.9	▲ 6.8	▲ 37.8%
三重	15.8	38.6	11.9	▲ 3.9	▲ 24.9%	25.6	13.8	▲ 13.0	▲ 33.6%
滋賀	16.8	53.9	9.0	▲ 7.8	▲ 46.6%	37.2	28.2	▲ 16.8	▲ 31.1%
京都	2.4	8.2	1.1	▲ 1.3	▲ 54.3%	6.2	5.1	▲ 2.0	▲ 24.7%
大阪	0.6	0.7	0.2	▲ 0.5	▲ 75.9%	0.2	0.0	▲ 0.5	▲ 70.4%
兵庫	14.2	26.1	11.9	▲ 2.4	▲ 16.6%	18.6	6.7	▲ 7.5	▲ 28.6%
奈良	4.7	4.7	1.8	▲ 3.0	▲ 63.1%	1.8	0.0	▲ 2.9	▲ 62.1%
和歌山	1.1	1.4	0.3	▲ 0.7	▲ 68.9%	0.4	0.1	▲ 1.0	▲ 69.1%
鳥取	6.7	11.5	3.9	▲ 2.9	▲ 42.7%	8.6	4.7	▲ 2.9	▲ 25.3%
島根	9.1	18.3	3.9	▲ 5.2	▲ 57.2%	13.4	9.5	▲ 4.9	▲ 26.9%
岡山	13.1	15.1	9.5	▲ 3.6	▲ 27.6%	11.2	1.7	▲ 3.9	▲ 25.7%
広島	10.2	26.8	5.1	▲ 5.1	▲ 49.7%	19.1	14.0	▲ 7.7	▲ 28.6%
山口	14.5	22.7	5.6	▲ 8.9	▲ 61.2%	12.6	7.0	▲ 10.1	▲ 44.3%
徳島	7.8	11.8	5.1	▲ 2.7	▲ 34.8%	7.5	2.4	▲ 4.3	▲ 36.3%
香川	4.1	5.3	1.6	▲ 2.6	▲ 62.3%	2.5	0.9	▲ 2.8	▲ 53.5%
愛媛	7.4	9.7	3.3	▲ 4.1	▲ 55.8%	4.3	1.0	▲ 5.4	▲ 55.4%
高知	9.6	8.6	6.8	▲ 2.7	▲ 28.7%	5.6	▲ 1.2	▲ 3.0	▲ 34.5%
福岡	17.2	27.7	9.2	▲ 8.0	▲ 46.3%	15.8	6.6	▲ 11.9	▲ 43.1%
佐賀	12.2	11.7	6.7	▲ 5.5	▲ 44.9%	6.8	0.0	▲ 4.9	▲ 42.1%
長崎	3.0	2.7	1.9	▲ 1.1	▲ 36.1%	1.9	0.0	▲ 0.8	▲ 30.2%
熊本	12.5	12.3	7.3	▲ 5.2	▲ 41.7%	7.7	0.4	▲ 4.6	▲ 37.5%
大分	6.0	5.7	3.0	▲ 3.0	▲ 49.5%	3.6	0.5	▲ 2.1	▲ 36.9%
宮崎	7.4	4.1	3.9	▲ 3.5	▲ 47.6%	2.3	▲ 1.6	▲ 1.8	▲ 44.9%
鹿児島	12.0	9.4	4.0	▲ 8.0	▲ 66.9%	2.6	▲ 1.4	▲ 6.8	▲ 72.7%
沖縄	0.4	0.3	0.2	▲ 0.2	▲ 44.0%	0.2	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 49.2%
全国	104万ト	199万ト	65万ト	▲ 39万ト	▲ 37.7%	150万ト	+ 85万ト	▲ 49万ト	▲ 24.7%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
 4 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

(3) 令和5・6年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

（北海道から秋田）

（単位：千玄米トン）

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	出荷＋販売段階	80.4	49.2	171.6									
	6年産米			133.4									
	1年古米(5年産)	76.1	46.8	36.6									
	出荷段階	60.2	35.5	131.1									
	6年産米			102.6									
	1年古米(5年産)	58.6	34.8	28.1									
	販売段階	20.1	13.6	40.4									
	6年産米			30.9									
	1年古米(5年産)	17.5	12.0	8.5									
青森	出荷＋販売段階	38.2	23.5	68.0									
	6年産米			52.8									
	1年古米(5年産)	37.5	23.1	15.0									
	出荷段階	26.0	15.5	55.8									
	6年産米			46.0									
	1年古米(5年産)	25.8	15.4	9.8									
	販売段階	12.2	8.0	12.2									
	6年産米			6.8									
	1年古米(5年産)	11.6	7.7	5.2									
岩手	出荷＋販売段階	47.0	29.2	38.2									
	6年産米			21.1									
	1年古米(5年産)	44.3	27.9	16.4									
	出荷段階	36.2	22.6	31.0									
	6年産米			18.0									
	1年古米(5年産)	35.1	22.1	12.7									
	販売段階	10.8	6.6	7.2									
	6年産米			3.1									
	1年古米(5年産)	9.2	5.8	3.6									
宮城	出荷＋販売段階	56.1	37.9	67.0									
	6年産米			42.5									
	1年古米(5年産)	54.4	36.8	23.7									
	出荷段階	44.1	28.7	53.9									
	6年産米			36.4									
	1年古米(5年産)	43.3	28.3	17.3									
	販売段階	12.1	9.2	13.0									
	6年産米			6.1									
	1年古米(5年産)	11.1	8.5	6.4									
秋田	出荷＋販売段階	44.0	21.8	104.0									
	6年産米			91.9									
	1年古米(5年産)	41.6	20.2	10.8									
	出荷段階	31.7	13.7	90.9									
	6年産米			84.0									
	1年古米(5年産)	30.7	13.0	6.4									
	販売段階	12.3	8.0	13.1									
	6年産米			7.9									
	1年古米(5年産)	10.9	7.1	4.4									

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

(山形から埼玉)

(単位:千玄米トン)

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
山形	出荷+販売段階	57.2	39.3	73.3									
	6年産米		0.0	41.0									
	1年古米(5年産)	52.5	35.3	29.0									
	出荷段階	44.7	28.3	61.9									
	6年産米			38.6									
	1年古米(5年産)	43.3	27.1	22.2									
	販売段階	12.6	11.0	11.5									
	6年産米		0.0	2.5									
	1年古米(5年産)	9.1	8.2	6.8									
福島	出荷+販売段階	58.9	40.9	53.9									
	6年産米		0.0	26.1									
	1年古米(5年産)	56.7	39.4	27.0									
	出荷段階	41.5	25.4	40.1									
	6年産米			22.9									
	1年古米(5年産)	40.7	25.0	17.2									
	販売段階	17.5	15.5	13.8									
	6年産米		0.0	3.2									
	1年古米(5年産)	16.0	14.4	9.8									
茨城	出荷+販売段階	27.0	36.7	100.2									
	6年産米		21.2	90.0									
	1年古米(5年産)	19.7	9.7	5.8									
	出荷段階	12.5	19.8	60.5									
	6年産米		13.4	56.9									
	1年古米(5年産)	9.4	4.0	1.8									
	販売段階	14.5	16.9	39.7									
	6年産米		7.8	33.2									
	1年古米(5年産)	10.4	5.8	4.0									
栃木	出荷+販売段階	55.6	36.8	90.7									
	6年産米		0.3	65.9									
	1年古米(5年産)	52.9	35.3	24.0									
	出荷段階	42.1	29.4	68.8									
	6年産米		0.2	49.3									
	1年古米(5年産)	41.0	28.7	19.0									
	販売段階	13.5	7.4	21.9									
	6年産米		0.1	16.6									
	1年古米(5年産)	11.9	6.6	4.9									
群馬	出荷+販売段階	6.6	4.6	3.0									
	6年産米			0.0									
	1年古米(5年産)	6.5	4.5	2.9									
	出荷段階	4.9	3.5	2.3									
	6年産米			0.0									
	1年古米(5年産)	4.9	3.5	2.3									
	販売段階	1.7	1.1	0.7									
	6年産米			0.0									
	1年古米(5年産)	1.6	1.0	0.6									
埼玉	出荷+販売段階	7.2	5.3	9.1									
	6年産米		0.9	6.8									
	1年古米(5年産)	6.1	3.9	2.2									
	出荷段階	4.3	2.4	5.2									
	6年産米		0.3	4.4									
	1年古米(5年産)	3.7	1.9	0.7									
	販売段階	2.9	2.8	4.0									
	6年産米		0.6	2.4									
	1年古米(5年産)	2.4	2.0	1.5									

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

在庫-7

(千葉から静岡)

(単位:千玄米トン)

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷+販売段階	8.4	52.5	72.3									
	6年産米	0.0	48.0	69.6									
	1年古米(5年産)	7.9	4.1	2.4									
	出荷段階	2.4	40.4	52.4									
	6年産米	0.0	39.7	52.1									
	1年古米(5年産)	2.4	0.7	0.3									
	販売段階	6.0	12.1	20.0									
	6年産米	0.0	8.3	17.5									
	1年古米(5年産)	5.6	3.4	2.1									
東京	出荷+販売段階	0.0	0.0	0.0									
	6年産米												
	1年古米(5年産)	0.0	0.0	0.0									
	出荷段階												
	6年産米												
	1年古米(5年産)												
	販売段階	0.0	0.0	0.0									
	6年産米												
	1年古米(5年産)	0.0	0.0	0.0									
神奈川	出荷+販売段階	0.7	0.4	0.5									
	6年産米			0.4									
	1年古米(5年産)	0.7	0.4	0.1									
	出荷段階	0.6	0.4	0.4									
	6年産米			0.4									
	1年古米(5年産)	0.6	0.4	0.1									
	販売段階	0.0	0.0	0.0									
	6年産米			0.0									
	1年古米(5年産)	0.0	0.0	0.0									
山梨	出荷+販売段階	1.9	1.5	2.4									
	6年産米			1.2									
	1年古米(5年産)	1.9	1.5	1.2									
	出荷段階	1.5	1.2	2.1									
	6年産米			1.2									
	1年古米(5年産)	1.5	1.2	1.0									
	販売段階	0.3	0.3	0.3									
	6年産米			0.0									
	1年古米(5年産)	0.3	0.3	0.2									
長野	出荷+販売段階	25.3	18.2	29.5									
	6年産米		0.0	16.4									
	1年古米(5年産)	25.1	18.1	13.1									
	出荷段階	21.3	15.7	25.5									
	6年産米			14.5									
	1年古米(5年産)	21.3	15.7	11.1									
	販売段階	3.9	2.5	4.0									
	6年産米		0.0	1.9									
	1年古米(5年産)	3.8	2.4	2.0									
静岡	出荷+販売段階	3.1	5.0	13.8									
	6年産米		3.1	12.7									
	1年古米(5年産)	3.1	1.8	1.1									
	出荷段階	0.6	1.7	7.5									
	6年産米		1.4	7.4									
	1年古米(5年産)	0.6	0.3	0.1									
	販売段階	2.5	3.3	6.3									
	6年産米		1.8	5.3									
	1年古米(5年産)	2.5	1.6	1.0									

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

(新潟から愛知)

(単位:千玄米トン)

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷+販売段階	68.8	42.4	165.9									
	6年産米		0.8	137.1									
	1年古米(5年産)	62.8	36.8	25.2									
	出荷段階	52.9	32.1	144.2									
	6年産米		0.6	121.2									
	1年古米(5年産)	47.9	27.4	19.9									
	販売段階	16.0	10.4	21.7									
	6年産米		0.2	15.9									
	1年古米(5年産)	14.9	9.4	5.4									
富山	出荷+販売段階	22.9	17.1	59.7									
	6年産米		2.4	48.8									
	1年古米(5年産)	22.7	14.6	10.8									
	出荷段階	17.9	12.3	50.4									
	6年産米		1.4	43.2									
	1年古米(5年産)	17.9	10.9	7.2									
	販売段階	5.0	4.8	9.3									
	6年産米		1.0	5.6									
	1年古米(5年産)	4.8	3.7	3.6									
石川	出荷+販売段階	18.2	19.7	58.4									
	6年産米		7.7	49.3									
	1年古米(5年産)	15.6	10.1	7.6									
	出荷段階	12.3	14.1	39.5									
	6年産米		5.3	32.4									
	1年古米(5年産)	11.0	7.9	6.3									
	販売段階	5.9	5.5	18.9									
	6年産米		2.4	16.9									
	1年古米(5年産)	4.6	2.2	1.3									
福井	出荷+販売段階	10.3	13.2	48.7									
	6年産米		7.3	44.7									
	1年古米(5年産)	10.2	5.9	4.0									
	出荷段階	6.4	4.8	30.9									
	6年産米		1.2	28.5									
	1年古米(5年産)	6.4	3.6	2.4									
	販売段階	3.9	8.3	17.8									
	6年産米		6.0	16.2									
	1年古米(5年産)	3.8	2.2	1.6									
岐阜	出荷+販売段階	8.0	6.9	7.5									
	6年産米		0.7	3.1									
	1年古米(5年産)	7.5	5.7	4.0									
	出荷段階	5.2	4.5	5.2									
	6年産米		0.5	2.4									
	1年古米(5年産)	5.0	3.8	2.6									
	販売段階	2.8	2.5	2.3									
	6年産米		0.2	0.7									
	1年古米(5年産)	2.5	1.9	1.4									
愛知	出荷+販売段階	8.8	8.3	11.2									
	6年産米		2.3	7.7									
	1年古米(5年産)	8.5	5.7	3.2									
	出荷段階	7.1	6.5	8.6									
	6年産米		1.8	6.1									
	1年古米(5年産)	7.1	4.7	2.5									
	販売段階	1.7	1.8	2.6									
	6年産米		0.5	1.6									
	1年古米(5年産)	1.4	0.9	0.8									

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

(三重から奈良)

(単位:千玄米トン)

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
三重	出荷+販売段階	5.3	11.9	25.6									
	6年産米		9.0	23.9									
	1年古米(5年産)	5.1	2.8	1.7									
	出荷段階	2.5	8.3	20.5									
	6年産米		7.2	19.8									
	1年古米(5年産)	2.5	1.1	0.7									
	販売段階	2.8	3.6	5.2									
	6年産米		1.8	4.1									
	1年古米(5年産)	2.5	1.7	1.1									
滋賀	出荷+販売段階	9.5	9.0	37.2									
	6年産米		3.9	32.6									
	1年古米(5年産)	7.5	3.6	3.6									
	出荷段階	5.8	6.1	31.4									
	6年産米		3.3	29.4									
	1年古米(5年産)	4.9	2.2	1.6									
	販売段階	3.7	2.8	5.8									
	6年産米		0.6	3.2									
	1年古米(5年産)	2.6	1.4	2.1									
京都	出荷+販売段階	1.9	1.1	6.2									
	6年産米		0.1	5.6									
	1年古米(5年産)	1.9	1.0	0.6									
	出荷段階	1.3	0.8	5.5									
	6年産米		0.1	5.1									
	1年古米(5年産)	1.3	0.7	0.4									
	販売段階	0.5	0.3	0.7									
	6年産米		0.0	0.5									
	1年古米(5年産)	0.5	0.3	0.2									
大阪	出荷+販売段階	0.3	0.2	0.2									
	6年産米			0.2									
	1年古米(5年産)	0.3	0.2	0.0									
	出荷段階	0.3	0.1	0.2									
	6年産米			0.2									
	1年古米(5年産)	0.3	0.1	0.0									
	販売段階	0.1	0.1	0.0									
	6年産米			0.0									
	1年古米(5年産)	0.1	0.1	0.0									
兵庫	出荷+販売段階	15.9	11.9	18.6									
	6年産米		0.3	11.4									
	1年古米(5年産)	15.5	11.5	7.1									
	出荷段階	13.3	10.3	16.7									
	6年産米		0.3	10.5									
	1年古米(5年産)	13.1	10.0	6.1									
	販売段階	2.6	1.6	1.9									
	6年産米		0.0	0.9									
	1年古米(5年産)	2.4	1.5	1.0									
奈良	出荷+販売段階	2.7	1.8	1.8									
	6年産米			0.7									
	1年古米(5年産)	2.5	1.6	1.0									
	出荷段階	1.9	1.1	1.0									
	6年産米			0.6									
	1年古米(5年産)	1.9	1.1	0.5									
	販売段階	0.8	0.7	0.8									
	6年産米			0.1									
	1年古米(5年産)	0.6	0.5	0.6									

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

(和歌山から山口)

(単位:千玄米トン)

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷+販売段階	0.5	0.3	0.4									
	6年産米			0.2									
	1年古米(5年産)	0.5	0.3	0.2									
	出荷段階	0.3	0.2	0.3									
	6年産米			0.1									
	1年古米(5年産)	0.3	0.2	0.1									
	販売段階	0.2	0.1	0.1									
	6年産米			0.1									
	1年古米(5年産)	0.2	0.1	0.1									
鳥取	出荷+販売段階	6.5	3.8	8.6									
	6年産米		0.0	6.5									
	1年古米(5年産)	6.3	3.7	2.0									
	出荷段階	4.6	2.6	6.9									
	6年産米		0.0	5.7									
	1年古米(5年産)	4.5	2.6	1.2									
	販売段階	1.9	1.2	1.7									
	6年産米		0.0	0.8									
	1年古米(5年産)	1.9	1.2	0.8									
島根	出荷+販売段階	5.9	3.9	13.4									
	6年産米		0.5	11.3									
	1年古米(5年産)	5.5	3.1	1.9									
	出荷段階	4.2	2.8	11.4									
	6年産米		0.4	9.9									
	1年古米(5年産)	4.2	2.4	1.5									
	販売段階	1.7	1.1	2.0									
	6年産米		0.1	1.4									
	1年古米(5年産)	1.3	0.7	0.4									
岡山	出荷+販売段階	14.0	9.5	11.2									
	6年産米		0.0	5.7									
	1年古米(5年産)	13.4	8.9	5.2									
	出荷段階	10.3	6.8	7.2									
	6年産米		0.0	4.3									
	1年古米(5年産)	10.2	6.7	2.9									
	販売段階	3.7	2.7	4.0									
	6年産米		0.0	1.4									
	1年古米(5年産)	3.1	2.2	2.4									
広島	出荷+販売段階	8.2	5.1	19.1									
	6年産米		0.0	16.2									
	1年古米(5年産)	7.7	4.9	2.7									
	出荷段階	5.2	2.8	16.2									
	6年産米			14.6									
	1年古米(5年産)	5.2	2.8	1.5									
	販売段階	3.0	2.3	2.9									
	6年産米		0.0	1.6									
	1年古米(5年産)	2.5	2.0	1.2									
山口	出荷+販売段階	8.4	5.6	12.6									
	6年産米		0.6	9.6									
	1年古米(5年産)	7.9	4.8	3.0									
	出荷段階	6.8	4.5	11.3									
	6年産米		0.4	8.8									
	1年古米(5年産)	6.6	4.0	2.4									
	販売段階	1.6	1.1	1.4									
	6年産米		0.2	0.8									
	1年古米(5年産)	1.4	0.8	0.5									

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

(徳島から佐賀)

(単位:千玄米トン)

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷+販売段階	0.8	5.1	7.5									
	6年産米		4.6	7.2									
	1年古米(5年産)	0.8	0.4	0.3									
	出荷段階	0.0	3.6	5.4									
	6年産米		3.6	5.4									
	1年古米(5年産)	0.0											
	販売段階	0.8	1.4	2.1									
	6年産米		1.0	1.7									
	1年古米(5年産)	0.8	0.4	0.3									
香川	出荷+販売段階	2.7	1.6	2.5									
	6年産米		0.2	1.7									
	1年古米(5年産)	2.7	1.3	0.7									
	出荷段階	1.7	0.7	1.5									
	6年産米			1.3									
	1年古米(5年産)	1.7	0.7	0.2									
	販売段階	1.1	0.9	1.0									
	6年産米		0.2	0.5									
	1年古米(5年産)	1.0	0.6	0.5									
愛媛	出荷+販売段階	3.8	3.3	4.3									
	6年産米		1.4	3.2									
	1年古米(5年産)	3.6	1.8	1.1									
	出荷段階	3.3	3.0	3.8									
	6年産米		1.3	2.8									
	1年古米(5年産)	3.2	1.7	1.0									
	販売段階	0.5	0.3	0.5									
	6年産米		0.1	0.3									
	1年古米(5年産)	0.4	0.2	0.2									
高知	出荷+販売段階	2.5	6.8	5.6									
	6年産米	0.4	5.3	4.4									
	1年古米(5年産)	1.7	1.2	1.0									
	出荷段階	0.2	2.2	2.0									
	6年産米	0.2	2.2	2.0									
	1年古米(5年産)	0.1	0.0	0.0									
	販売段階	2.3	4.6	3.6									
	6年産米	0.3	3.1	2.5									
	1年古米(5年産)	1.7	1.2	0.9									
福岡	出荷+販売段階	15.4	9.2	15.8									
	6年産米		0.9	11.0									
	1年古米(5年産)	15.1	8.1	4.6									
	出荷段階	11.6	6.5	9.6									
	6年産米		0.4	6.2									
	1年古米(5年産)	11.5	6.1	3.4									
	販売段階	3.8	2.7	6.2									
	6年産米		0.5	4.8									
	1年古米(5年産)	3.6	2.0	1.2									
佐賀	出荷+販売段階	10.2	6.7	6.8									
	6年産米		0.4	3.6									
	1年古米(5年産)	9.7	6.1	3.0									
	出荷段階	7.8	5.4	5.6									
	6年産米		0.3	3.2									
	1年古米(5年産)	7.8	5.1	2.4									
	販売段階	2.3	1.3	1.1									
	6年産米		0.1	0.4									
	1年古米(5年産)	1.9	0.9	0.6									

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

(長崎から沖縄)

(単位:千玄米トン)

		6年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷+販売段階	2.4	1.9	1.9									
	6年産米		0.4	1.0									
	1年古米(5年産)	2.4	1.5	0.9									
	出荷段階	2.1	1.7	1.6									
	6年産米		0.4	0.9									
	1年古米(5年産)	2.1	1.3	0.8									
	販売段階	0.3	0.2	0.2									
	6年産米		0.0	0.1									
	1年古米(5年産)	0.3	0.2	0.1									
熊本	出荷+販売段階	10.2	7.3	7.7									
	6年産米		1.4	4.2									
	1年古米(5年産)	9.8	5.6	3.2									
	出荷段階	6.1	3.4	3.9									
	6年産米		0.5	2.4									
	1年古米(5年産)	6.1	3.0	1.5									
	販売段階	4.1	3.8	3.8									
	6年産米		0.9	1.8									
	1年古米(5年産)	3.8	2.6	1.8									
大分	出荷+販売段階	4.1	3.0	3.6									
	6年産米		0.4	2.1									
	1年古米(5年産)	4.0	2.5	1.4									
	出荷段階	2.4	1.6	1.8									
	6年産米		0.2	1.2									
	1年古米(5年産)	2.4	1.3	0.6									
	販売段階	1.7	1.5	1.8									
	6年産米		0.2	0.9									
	1年古米(5年産)	1.6	1.2	0.8									
宮崎	出荷+販売段階	4.8	3.9	2.3									
	6年産米	3.9	3.2	1.9									
	1年古米(5年産)	0.9	0.6	0.3									
	出荷段階	2.3	0.8	0.2									
	6年産米	2.0	0.7	0.2									
	1年古米(5年産)	0.3	0.2	0.0									
	販売段階	2.5	3.0	2.1									
	6年産米	1.9	2.6	1.8									
	1年古米(5年産)	0.6	0.5	0.3									
鹿児島	出荷+販売段階	5.0	4.0	2.6									
	6年産米	0.6	1.5	1.0									
	1年古米(5年産)	3.6	1.9	1.1									
	出荷段階	3.7	2.5	1.4									
	6年産米	0.2	0.5	0.3									
	1年古米(5年産)	3.0	1.5	0.6									
	販売段階	1.4	1.5	1.2									
	6年産米	0.4	0.9	0.7									
	1年古米(5年産)	0.6	0.4	0.4									
沖縄	出荷+販売段階	0.5	0.2	0.2									
	6年産米	0.5	0.2	0.2									
	1年古米(5年産)												
	出荷段階	0.2	0.2	0.1									
	6年産米	0.2	0.2	0.1									
	1年古米(5年産)												
	販売段階	0.2	0.1	0.0									
	6年産米	0.2	0.1	0.0									
	1年古米(5年産)												

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

2 米の価格情報

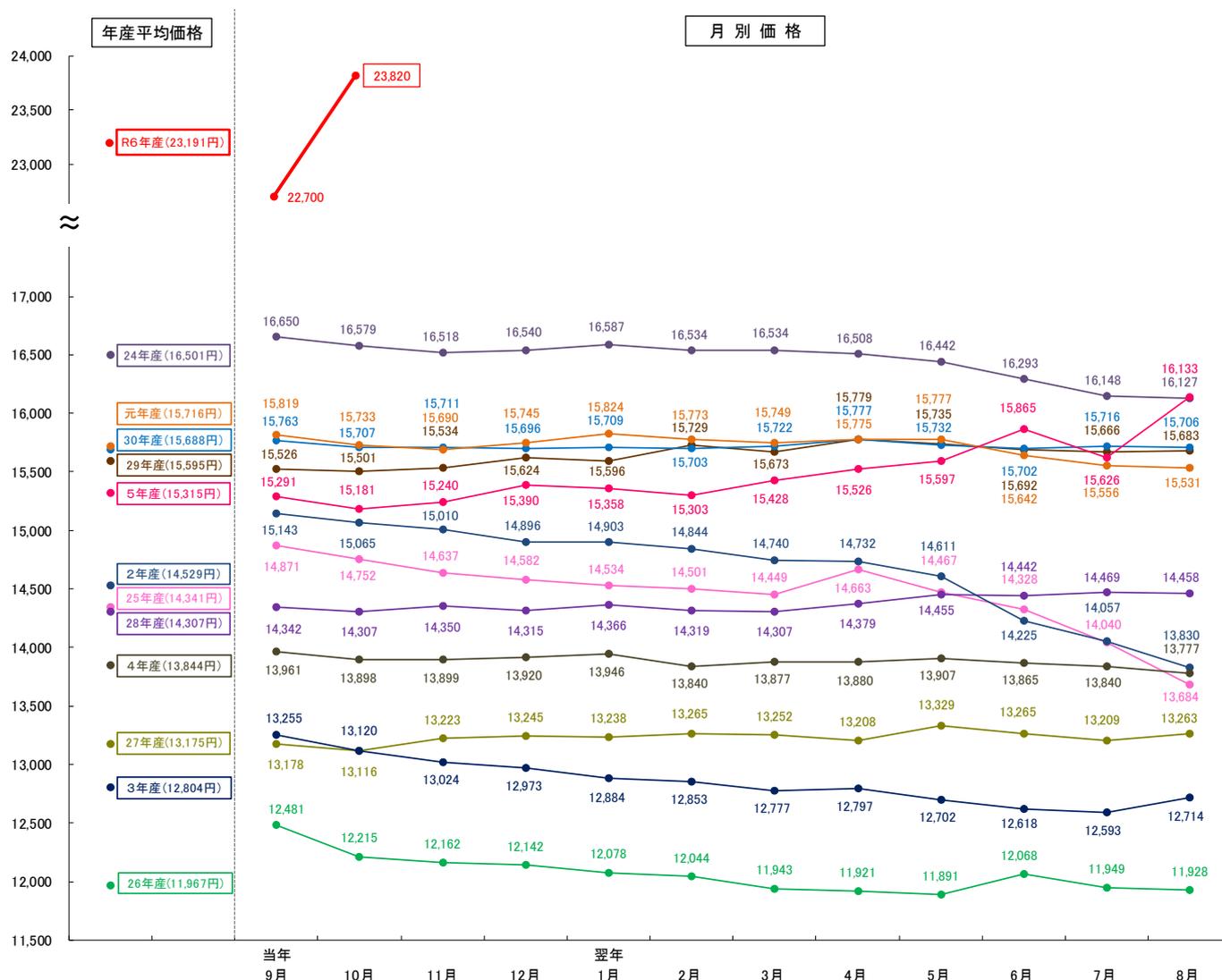
1 相対取引価格・数量

相対取引価格の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

(1) 年産別の相対取引価格（速報）

- 令和6年産米の令和6年10月の相対取引価格は、全銘柄平均で23,820円/60kgとなり、前年同月比+8,639円（+57%）、前月比+1,120円（+5%）、取扱数量は、前年同月比+60%となったところ。
- 令和6年10月までの年産平均価格23,191円/60kgは、出荷業者と卸売業者等の間の取引価格としては、平成5年産の23,607円/60kgに次ぐ価格である。

相対取引価格の推移（税込）（全銘柄平均価格）



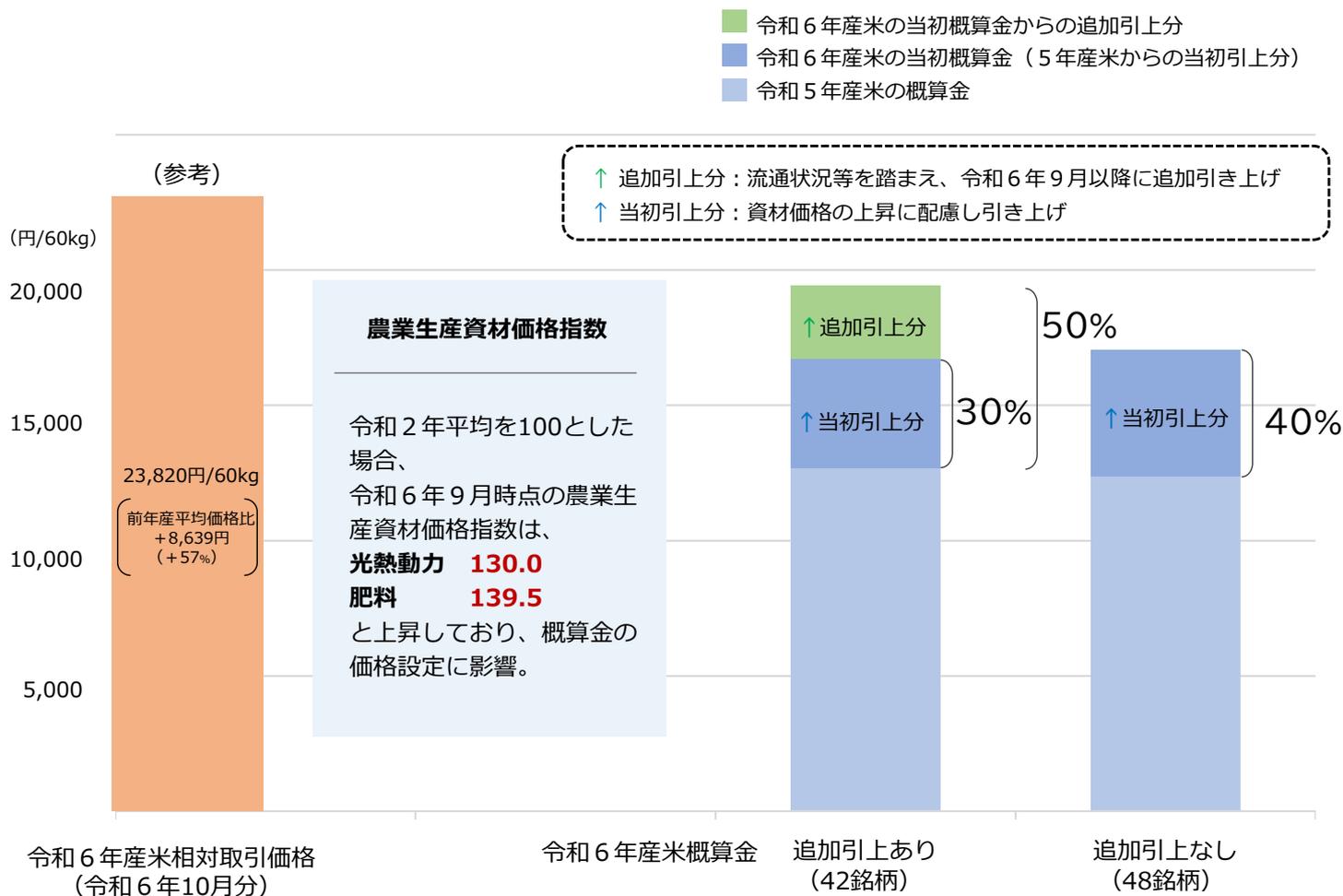
資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 価格には、運賃、包装代、消費税が含まれている。なお、消費税は、平成26年3月以前は5%、令和元年9月以前は8%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。

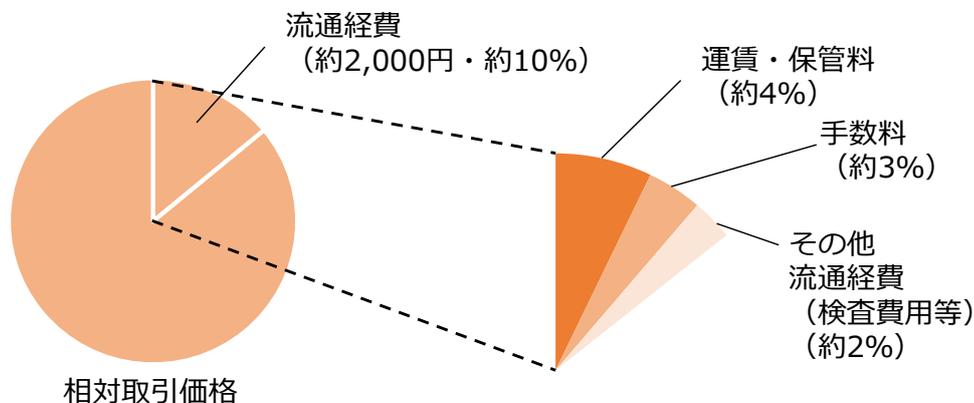
3 グラフ左側の年産平均価格は、当該年産の出回りから翌年10月まで（6年産は出回りから令和6年10月までの速報値）の通年平均価格、右側は月別の価格である。

(参考) 6年産米の概算金の設定と相対取引価格の状況



※概算金は、業界紙情報及び集荷業者等からの聞き取りによるもの（令和6年10月29日現在）。

米の集荷・流通に関する経費



- 集荷団体が行う米の集荷・流通等に要するコストは、各県・銘柄によって異なるものの、概ね約2,000円/60kg（約10%）と推定される。
- 内訳は、通年供給にかかる保管料、産地から消費地への運賃等が4%、手数料が3%、その他（安全安心にかかるサンプル検査費用、広告宣伝費用他）が2%程度と推定される。

※流通経費は、集荷業者等からの聞き取りにより算出。

(2) 相対取引価格・数量 (令和6年産米、産地品種銘柄別、令和6年10月分) (速報)

相対取引価格・数量 (北海道から三重まで)

(単位:円/玄米60kg税込、玄米トン)

産地	品種銘柄	6年産米 令和6年10月		月別価格						年産平均価格			取引数量				取引数量 累計		
		価格 ①	数量 ②	6年産米 (6年9月)	対前月比 ①/③	対前年 同月比 ①/④	5年産米 (5年10月)	6年産米 出回り~ 6年10月 ⑤	5年産米 出回り~ 6年10月 ⑥	対前年比 ⑤/⑥	6年産米 (6年9月)	対前月比 ②/⑦	対前年 同月比 ②/⑧	5年産米 (5年10月)	6年産米 出回り~ 6年10月 ⑨	5年産米 出回り~ 5年10月 ⑩	対前年 同期比 ⑨/⑩		
				③			④				⑦			⑧					
北海道	ななつほし	25,241	20,396	25,198	100%	163%	15,520	24,063	15,655	154%	11,463	178%	129%	15,860	36,472	21,413	170%		
北海道	ゆめびりか	27,283	9,328	25,971	105%	162%	16,873	25,877	16,452	157%	7,430	126%	126%	7,401	18,339	10,296	178%		
北海道	きらら397	25,832	1,778	24,068	107%	173%	14,933	23,320	15,102	154%	247	720%	125%	1,427	2,658	1,489	179%		
青森	まっしぐら	26,352	9,039	25,311	104%	185%	14,241	26,189	15,220	172%	1,683	537%	206%	4,397	10,721	6,586	163%		
青森	つがのロマン	-	-	-	-	-	15,042	-	15,421	-	-	-	-	332	-	875	-		
岩手	ひとめぼれ	21,631	15,346	20,775	104%	143%	15,137	21,575	15,140	143%	1,091	1407%	194%	7,924	16,437	9,428	174%		
岩手	鏡河のしずく	21,873	4,397	20,894	105%	142%	15,366	21,707	15,459	140%	892	493%	192%	2,288	5,289	3,435	154%		
岩手	あきたこまち	23,711	1,644	-	-	156%	15,177	23,737	15,119	157%	-	-	131%	1,253	1,698	1,327	128%		
宮城	ひとめぼれ	24,331	9,462	22,968	106%	174%	13,989	23,208	15,007	155%	44,294	21%	79%	11,966	53,756	15,100	356%		
宮城	つや姫	24,458	1,484	23,646	103%	155%	15,752	23,792	15,556	153%	6,796	22%	110%	1,346	8,281	2,868	289%		
宮城	ササニシキ	25,414	1,416	23,389	109%	162%	15,651	23,954	15,592	154%	3,660	39%	143%	988	5,076	1,491	341%		
秋田	あきたこまち	23,708	48,282	22,284	106%	155%	15,261	23,490	15,317	153%	8,755	551%	291%	16,592	57,037	20,036	285%		
秋田	ひとめぼれ	23,033	5,823	20,181	114%	161%	14,329	22,821	14,375	159%	468	1244%	506%	1,151	6,291	1,291	487%		
秋田	めんこいな	20,742	644	-	-	148%	14,034	20,722	14,213	146%	-	-	127%	508	657	508	129%		
山形	はえぬき	23,578	3,884	21,741	108%	162%	14,541	23,090	14,779	156%	1,405	276%	119%	3,261	5,288	3,921	135%		
山形	つや姫	25,403	5,374	23,096	110%	135%	18,784	25,151	18,745	134%	659	815%	119%	4,526	6,033	7,457	81%		
山形	雪若丸	24,092	1,715	22,428	107%	153%	15,773	23,655	15,497	153%	610	281%	112%	1,538	2,325	2,045	114%		
福島	コシヒカリ(中通り)	24,857	2,479	24,148	103%	171%	14,575	24,826	14,959	166%	115	2156%	128%	1,935	2,594	1,797	144%		
福島	コシヒカリ(会津)	26,873	1,781	-	-	173%	15,524	26,885	15,494	174%	-	-	154%	1,155	1,833	1,261	145%		
福島	コシヒカリ(浜通り)	24,803	210	-	-	170%	14,614	24,590	15,131	163%	-	-	174%	121	234	-	-		
福島	ひとめぼれ	25,576	1,141	23,896	107%	179%	14,263	25,228	14,537	174%	299	382%	106%	1,078	1,440	1,303	111%		
福島	天のつば	24,895	675	-	-	190%	13,077	24,820	14,296	174%	-	-	70%	963	694	933	74%		
茨城	コシヒカリ	26,946	4,471	27,646	97%	182%	14,775	26,704	15,235	175%	6,600	68%	67%	6,675	15,714	10,430	151%		
茨城	あきたこまち	28,209	149	26,992	105%	195%	14,500	25,453	14,726	173%	1,807	8%	85%	176	5,891	5,027	117%		
茨城	にじのきらめき	26,327	468	-	-	-	-	26,392	-	-	-	-	-	495	-	-	-		
栃木	コシヒカリ	23,463	5,499	23,492	100%	152%	15,388	23,487	15,152	155%	23,743	23%	264%	2,082	29,243	3,650	801%		
栃木	とちぎの星	22,851	1,099	23,009	99%	159%	14,389	22,969	14,476	159%	3,251	34%	70%	1,576	4,350	1,235	352%		
栃木	あさひの夢	22,663	480	22,908	99%	162%	13,973	22,836	14,145	161%	1,140	42%	180%	267	1,620	267	607%		
群馬	あさひの夢	-	-	-	-	-	-	-	15,219	-	-	-	-	-	-	-	-		
群馬	ゆめまつり	-	-	-	-	-	-	-	14,976	-	-	-	-	-	-	-	-		
埼玉	彩のきずな	20,965	490	-	-	147%	14,239	20,279	14,489	140%	-	-	73%	669	553	748	74%		
埼玉	彩のかがやき	-	-	-	-	-	14,158	-	14,333	-	-	-	-	1,220	-	533	-		
埼玉	コシヒカリ	22,189	117	-	-	151%	14,738	21,619	15,055	144%	-	-	23%	507	200	563	35%		
千葉	コシヒカリ	24,667	1,396	24,556	100%	172%	14,375	24,071	14,611	165%	6,247	22%	29%	4,807	16,222	15,500	105%		
千葉	ふさこがね	24,495	500	23,697	103%	181%	13,542	23,107	13,742	168%	2,682	19%	33%	1,523	6,914	4,316	160%		
千葉	ふさおとめ	22,877	589	23,211	99%	169%	13,500	22,994	13,985	164%	1,321	45%	72%	819	5,773	5,371	107%		
山梨	コシヒカリ	19,793	374	19,871	100%	112%	17,662	19,812	17,535	113%	116	322%	163%	230	490	235	209%		
長野	コシヒカリ	21,759	5,542	20,615	106%	135%	16,163	21,051	15,895	132%	9,012	61%	513%	1,081	14,554	8,522	171%		
長野	あきたこまち	21,948	106	19,760	111%	146%	15,068	19,880	15,127	131%	1,844	6%	19%	547	1,950	1,716	114%		
静岡	コシヒカリ	18,077	111	21,789	83%	117%	15,483	21,313	15,560	137%	212	52%	64%	173	847	598	142%		
静岡	きぬむすめ	-	-	-	-	-	-	-	14,438	-	-	-	-	-	-	-	-		
静岡	にこまる	-	-	-	-	-	-	-	14,407	-	-	-	-	-	-	-	-		
新潟	コシヒカリ(一般)	23,487	39,815	20,858	113%	136%	17,208	22,608	16,927	134%	18,221	219%	4630%	860	59,621	7,823	762%		
新潟	コシヒカリ(魚沼)	25,505	8,022	24,263	105%	122%	20,851	25,039	20,758	121%	3,722	216%	1053%	762	12,280	1,677	732%		
新潟	コシヒカリ(佐渡)	24,119	5,828	21,316	113%	138%	17,507	22,869	17,441	131%	3,970	147%	2408%	242	10,506	1,047	1004%		
新潟	コシヒカリ(岩船)	24,311	5,412	21,134	115%	139%	17,432	22,862	17,325	132%	4,295	126%	2042%	265	9,940	1,634	608%		
新潟	こしいぶき	22,199	3,418	19,075	116%	150%	14,771	20,345	14,596	139%	4,357	78%	299%	1,142	8,935	3,874	231%		
富山	コシヒカリ	25,583	8,545	20,444	125%	164%	15,576	22,868	15,915	144%	9,573	89%	51%	16,837	18,118	17,839	102%		
富山	てんたかく	19,919	452	20,183	99%	132%	15,079	20,269	14,920	136%	1,671	27%	108%	418	2,360	2,020	117%		
石川	コシヒカリ	21,206	657	21,621	98%	134%	15,806	21,579	15,678	138%	5,907	11%	93%	707	6,564	1,888	348%		
石川	ゆめみづほ	-	-	20,164	-	-	14,497	20,183	14,415	140%	1,721	-	-	266	1,978	595	332%		
福井	コシヒカリ	23,128	1,042	20,395	113%	151%	15,358	20,788	15,380	135%	6,203	17%	956%	109	7,245	3,050	238%		
福井	ハナエチゼン	22,252	856	19,343	115%	170%	13,102	19,668	13,881	142%	1,043	82%	394%	217	7,651	5,732	133%		
福井	あきさかり	20,445	277	19,322	106%	140%	14,572	19,510	14,185	138%	1,373	20%	48%	573	1,650	951	174%		
岐阜	ハツシモ	20,950	291	-	-	139%	15,041	20,950	15,087	139%	-	-	53%	547	291	547	53%		
岐阜	コシヒカリ	21,586	331	21,100	102%	135%	15,986	21,308	16,144	132%	444	75%	39%	850	775	1,540	50%		
岐阜	ほしじるし	23,092	121	-	-	167%	13,843	23,092	13,929	166%	-	-	47%	258	121	258	47%		
愛知	あいちのおり	19,703	202	-	-	136%	14,534	19,703	14,479	136%	-	-	100%	202	202	202	100%		
愛知	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
愛知	大地の風	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
三重	コシヒカリ(一般)	22,825	200	21,736	105%	155%	14,754	21,243	14,716	144%	1,129	18%	15%	1,299	3,038	3,570	85%		
三重	コシヒカリ(伊賀)	-	-	22,010	-	-	15,018	21,498	15,085	143%	583	-	-	842	1,231	1,683	73%		
三重	キヌヒカリ	-	-	20,732	-	-	13,496	20,675	13,563	152%	207	-	-	272	220	513	43%		

注:本表の注意点は次頁の脚注を参照

相対取引価格・数量（滋賀から鹿児島まで）

(単位:円/玄米60kg税込、玄米トン)

産地	品種銘柄	6年産米 令和6年10月		月別価格						年産平均価格			取引数量				取引数量 累計		
		価格 ①	数量 ②	6年産米 (6年9月)	対前月比 ①/③	対前年 同月比 ①/④	5年産米 (5年10月)	6年産米 出回り～ 6年10月	5年産米 出回り～ 6年10月	対前年比 ⑤/⑥	6年産米 (6年9月)	対前月比 ②/⑦	対前年 同月比 ②/⑧	5年産米 (5年10月)	6年産米 出回り～ 6年10月	5年産米 出回り～ 5年10月	対前年 同期比 ⑨/⑩		
				③			④	⑤	⑥		⑦			⑧	⑨	⑩			
滋賀	コシヒカリ	22,546	966	20,856	108%	149%	15,162	21,202	15,271	139%	3,141	31%	76%	1,269	4,455	4,842	92%		
滋賀	キヌヒカリ	21,315	780	19,930	107%	153%	13,952	20,757	13,965	149%	440	173%	100%	763	1,254	1,710	73%		
滋賀	みずかがみ	22,502	844	20,912	108%	143%	15,705	21,083	14,915	141%	1,002	84%	247%	342	3,811	3,389	112%		
京都	コシヒカリ	21,739	146	22,101	98%	143%	15,215	21,841	15,502	141%	1,742	8%	57%	257	2,316	2,608	89%		
京都	キヌヒカリ	-	-	19,408	-	-	13,838	19,335	14,057	138%	423	-	-	481	639	719	89%		
京都	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	15,970	-	-	-	-	-	-	-	-		
兵庫	コシヒカリ	22,712	447	20,629	110%	144%	15,739	20,994	15,492	136%	2,014	22%	43%	1,034	2,601	2,089	125%		
兵庫	ヒノヒカリ	21,184	196	-	-	154%	13,785	21,184	14,074	151%	-	-	86%	229	196	209	94%		
兵庫	キヌヒカリ	20,668	398	19,311	107%	150%	13,755	20,289	13,986	145%	155	257%	116%	343	553	489	113%		
奈良	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	14,180	-	14,389	-	-	-	-	182	-	182	-		
鳥取	きぬむすめ	21,046	463	20,156	104%	147%	14,337	20,728	14,404	144%	258	179%	119%	389	721	750	96%		
鳥取	コシヒカリ	21,022	724	20,548	102%	140%	15,000	20,912	15,005	139%	219	331%	483%	150	943	584	162%		
鳥取	ひとめぼれ	20,740	156	20,011	104%	147%	14,127	20,165	14,243	142%	587	27%	40%	393	744	1,160	64%		
鳥根	きぬむすめ	19,830	1,622	19,416	102%	140%	14,183	19,513	14,117	138%	7,093	23%	50%	3,275	9,075	6,090	149%		
鳥根	コシヒカリ	21,055	1,069	20,366	103%	140%	15,016	20,457	14,978	137%	5,424	20%	53%	2,015	7,049	6,171	114%		
鳥根	つや姫	20,295	1,293	20,193	101%	137%	14,817	20,230	14,743	137%	2,592	50%	81%	1,605	4,204	2,097	201%		
岡山	アケボノ	23,393	1,080	-	-	182%	12,887	23,393	13,208	177%	-	-	132%	819	1,080	207	522%		
岡山	きぬむすめ	22,775	1,396	21,776	105%	168%	13,538	22,111	13,793	160%	1,733	81%	73%	1,906	4,122	798	516%		
岡山	コシヒカリ	23,668	848	22,641	105%	162%	14,595	22,919	14,533	158%	1,390	61%	391%	217	3,235	1,255	258%		
広島	コシヒカリ	20,673	1,540	20,950	99%	143%	14,504	20,799	14,550	143%	1,281	120%	136%	1,136	2,821	1,326	213%		
広島	あきさかり	19,571	1,063	20,219	97%	143%	13,685	19,661	13,857	142%	171	622%	213%	500	1,234	552	224%		
広島	あきらまん	19,873	684	20,240	98%	148%	13,400	19,936	13,956	143%	141	485%	214%	319	825	350	236%		
山口	コシヒカリ	21,100	803	22,371	94%	142%	14,871	21,748	14,918	146%	700	115%	231%	348	1,621	1,327	122%		
山口	ひとめぼれ	20,435	373	21,371	96%	147%	13,889	20,858	14,071	148%	299	125%	111%	335	689	737	93%		
山口	きぬむすめ	20,673	337	-	-	147%	14,086	20,673	14,000	148%	-	-	104%	324	337	426	79%		
徳島	コシヒカリ	-	-	23,218	-	-	14,137	23,211	14,137	164%	290	-	-	240	4,876	1,104	442%		
徳島	あきさかり	-	-	22,231	-	-	-	22,236	14,426	166%	256	-	-	-	499	480	104%		
香川	コシヒカリ	21,049	411	21,049	100%	137%	15,325	21,049	15,325	137%	756	54%	139%	295	1,167	745	157%		
香川	ヒノヒカリ	20,509	116	-	-	141%	14,569	20,509	14,569	141%	-	-	85%	136	116	136	85%		
香川	あきさかり	20,293	115	20,293	100%	-	-	20,293	14,245	142%	108	106%	-	-	223	-	-		
愛媛	コシヒカリ	24,095	376	20,113	120%	170%	14,179	20,666	14,310	144%	1,278	29%	71%	527	2,172	2,165	100%		
愛媛	ヒノヒカリ	23,663	349	-	-	-	-	23,663	13,878	171%	-	-	-	-	349	590	59%		
愛媛	あきたこまち	-	-	19,222	-	-	-	20,226	13,596	149%	185	-	-	-	256	675	38%		
高知	コシヒカリ	-	-	22,339	-	-	-	22,339	14,922	150%	3,261	-	-	-	6,600	3,642	181%		
高知	ヒノヒカリ	21,367	193	-	-	157%	13,634	21,367	13,634	157%	-	-	91%	212	193	212	91%		
福岡	夢つき	21,562	1,384	20,271	106%	139%	15,480	20,911	15,458	135%	2,001	69%	226%	612	4,226	3,051	139%		
福岡	ヒノヒカリ	21,100	2,548	-	-	145%	14,524	21,100	14,139	149%	-	-	236%	1,079	2,548	1,493	171%		
福岡	元気つき	21,769	1,515	21,278	102%	140%	15,523	21,696	15,434	141%	264	574%	52%	2,921	1,779	3,210	55%		
佐賀	さがびより	22,005	191	-	-	146%	15,093	22,005	14,873	148%	-	-	140%	136	191	136	140%		
佐賀	夢しずく	20,857	738	-	-	143%	14,596	20,761	14,377	144%	-	-	99%	745	885	821	108%		
佐賀	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	14,121	-	-	-	-	-	-	-	-		
長崎	にこまる	-	-	-	-	-	13,867	-	14,584	-	-	-	-	330	-	330	-		
長崎	なつほのか	22,424	113	-	-	164%	13,698	22,424	14,209	158%	-	-	27%	416	113	423	27%		
長崎	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	13,704	-	14,331	-	-	-	-	147	-	147	-		
熊本	ヒノヒカリ	24,890	128	-	-	173%	14,421	24,890	14,821	168%	-	-	60%	214	128	214	60%		
熊本	森のくまさん	-	-	-	-	-	-	-	14,442	-	-	-	-	-	-	-	-		
熊本	コシヒカリ	23,857	391	23,311	102%	157%	15,154	23,306	15,242	153%	331	118%	149%	263	867	554	157%		
大分	ヒノヒカリ	23,588	322	-	-	163%	14,430	23,578	14,454	163%	-	-	36%	892	354	851	42%		
大分	なつほのか	23,789	154	-	-	-	-	23,787	-	-	-	-	-	154	-	-	-		
大分	ひとめぼれ	-	-	-	-	-	14,286	22,902	14,574	157%	-	-	-	1,001	119	1,068	11%		
宮崎	コシヒカリ	22,600	4,405	-	-	155%	14,582	22,600	14,582	155%	-	-	96%	4,610	4,405	4,610	96%		
宮崎	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	15,219	-	-	-	-	-	-	-	-		
鹿児島	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	14,763	-	-	-	-	-	-	-	-		
鹿児島	あきほなみ	-	-	-	-	-	-	-	15,115	-	-	-	-	-	-	-	-		
鹿児島	コシヒカリ	-	-	21,499	-	-	14,552	21,140	14,670	144%	112	-	-	216	771	1,765	44%		
全銘柄平均価格、合計数量		23,820	274,490	22,700	105%	157%	15,181	23,191	15,315	151%	252,373	109%	160%	171,630	588,623	300,176	196%		

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
- 2 産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。
- 3 価格に含む消費税は、軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。
- 4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡、静岡以東（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。
- 5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の取引状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。また、算定に当たっては、契約価格に運賃を含めない産地在産の取引分も対象としている。
- 6 報告対象産地品種銘柄ごとの年産平均価格は、当該報告対象産地品種銘柄の出回りから当該月までの相対取引数量ウェイトで加重平均により算定している（6年産は速報値）。
- 7 全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定している。
- 8 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。また、各年産米の年産平均価格について、令和6年産米は、当該月までの相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。令和5年産米は、当該年産において報告対象としない産地品種銘柄であり、価格の公表を行わないものである。
- 9 全銘柄平均価格、合計数量欄には公表していない産地品種銘柄分を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

